2018年度

「学生による授業評価アンケート」結果

目次

1. はじめに

- 2. 授業評価結果
 - 2-1. 専任•兼担教員
 - 2-2. 非常勤講師等

3. 参考資料

1. はじめに

1.はじめに

本学部での授業評価は、長年にわたるリアクションペーパーの活用を経て、2004年度からは 社会福祉士国家試験該当科目を対象とした新たなアンケート書式による授業評価を導入し ました。翌年度からは対象科目を社会福祉士国家試験該当科目以外へ、2006年度からは 兼担・非常勤の教員を含む全教員の担当科目へと拡充し、時宜によっては「実習」関連科 目を対象とした授業評価の試行なども展開して参りました。

2013年度からは、2つの評価様式(参考資料)を教員が選択して使用する形式となり、FD (ファカルティ・ディベロプメント)の一環として今年度に引き継がれてきています。

学生による授業評価は、ともすれば一方向的なものと解釈される可能性もあり、場合によっては学生と教員との意識にすれ違いが生じることもあります。こうしたことを最小限とするため、各教員には集計結果を公布した上で、「担当者のコメント」の記述を依頼し、学生も含めて閲覧できるようにしております。学生による授業評価を真の教育の質の向上につなげるには、教員が集計結果の背景にある学生の学ぶ姿を思い描くことが必要であると考えております。

本報告書は、このような経緯を踏まえて実施された、2018年度の授業評価アンケートの結果、および担当者のコメントをまとめたものです。

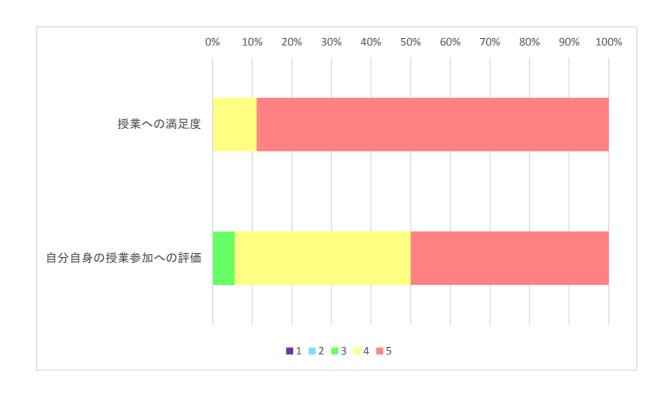
日本社会事業大学 社会福祉学部 FD委員長 金子恵美

2. 授業評価結果

2-1. 専任•兼担教員

氏名	相原 朋枝			
科目名	保育表現技術 I D1(保)			
実施日	2018/7/25	配当年次	2	
履修者数	19人	回答者数	18	

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	0	2	16	18
自分自身の授業参加への評価	0	0	1	8	9	18

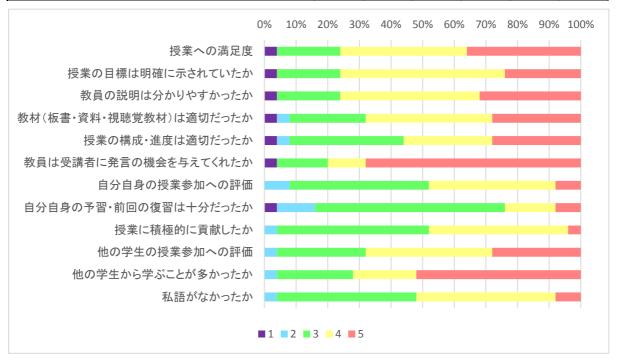


■担当者のコメント ——

身体表現の実技授業ですので、学生自身が実際に体験することで表現の本質を掴むこと、その楽しさを味わうことを主眼としています。アンケートを見る限り、ねらいは達成されているようです。課題はアンケートの指摘にあるように教室の環境整備です。今年の暑さは異常とはいえ、冷暖房がなく、また清潔さを欠く武道場での授業の実施は、学生にとって苦痛だったかと思います。環境整備については、私から大学側に求めていく所存です。

氏名	有村 大士		
科目名	児童福祉論Ⅱ		
実施日	2019/1/25	配当年次	2
履修者数	30	回答者数	25

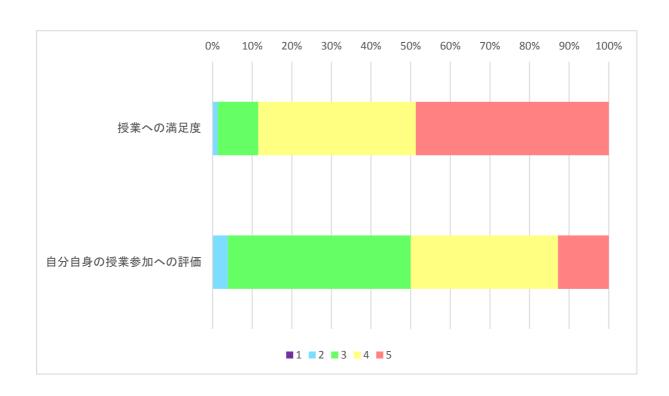
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	1	0	5	10	9	25
授業の目標は明確に示されていたか	1	0	5	13	6	25
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	5	11	8	25
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	6	10	7	25
授業の構成・進度は適切だったか	1	1	9	7	7	25
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	0	4	3	17	25
自分自身の授業参加への評価	0	2	11	10	2	25
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	3	15	4	2	25
授業に積極的に貢献したか	0	1	12	11	1	25
他の学生の授業参加への評価	0	1	7	10	7	25
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	6	5	13	25
私語がなかったか	0	1	11	11	2	25



■担当者のコメント

氏名	上村 勇夫			
科目名	就労支援サービス			
実施日	2018/12/14	配当年次	3	
履修者数	159	回答者数	78	

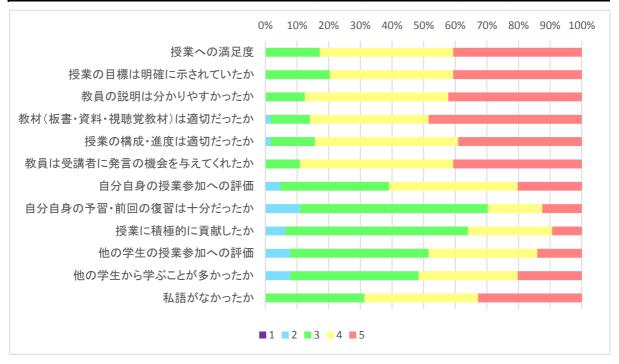
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	1	8	31	38	78
自分自身の授業参加への評価	0	3	36	29	10	78



就労経験がない学生が多い状況が想定されたため、いかにリアリティのある授業を展開できるかが私自身の課題でした。具体的な工夫として、映像資料を利用したり、現場で活躍されているゲストスピーカーをお呼びしたりしましたが、概ねその点は評価してもらえたようです。また、初の試みとして、学生の質問や意見をより多く引き出すために、インターネットの掲示板を使用しましたが、今後より工夫が必要なようでした。昨年までの課題であった、レジュメをわかりやすくする、メリハリのある話し方を心掛ける、全体の流れを踏まえたうえで今の話がどういう位置づけになるのかということを明確化するといった点については、アンケートを見ても手ごたえが感じられました。今後もよりわかりやすく授業を展開する工夫を心がけてまいります。

氏名	内田 宏明			
科目名	教育相談(教)・スクールソーシャルワーク			
実施日	2018/12/20	配当年次	2	
履修者数	80	回答者数	64	

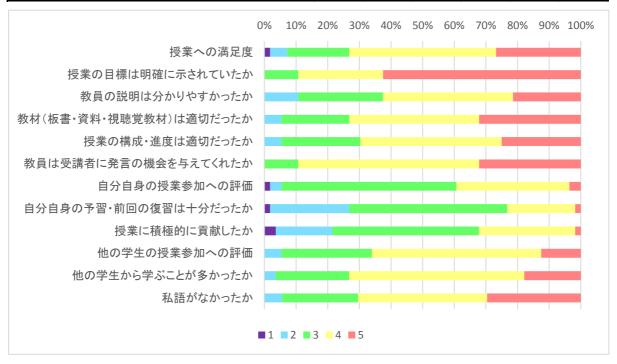
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	11	27	26	64
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	13	25	26	64
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	8	29	27	64
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	8	24	31	64
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	9	29	25	64
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	7	31	26	64
自分自身の授業参加への評価	0	3	22	26	13	64
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	38	11	8	64
授業に積極的に貢献したか	0	4	37	17	6	64
他の学生の授業参加への評価	0	5	28	22	9	64
他の学生から学ぶことが多かったか	0	5	26	20	13	64
私語がなかったか	0	0	20	23	21	64



授業への満足度については、おおむね良好な評価をいただいている。授業目標の明示、説明のわかりやすさ、教材の適切さ、授業の構成・進度についても、おおむね良好な評価をいただいており、今年度を踏まえ来年度はさらに向上を目指したい。また、受講者の発言の機会も提供できたと捉えることができる。半面で、学生の授業参加や自主学習についてはやや低い評価に留まった。講義形式のため限界はあるが、今年度試みた事例検討結果の発表など受講生者参加の工夫を重ねたい。

氏名	大島 巌			
科目名	精神保健福祉援技総論			
実施日	2019/1/18	配当年次	1	
履修者数	84	回答者数	56	

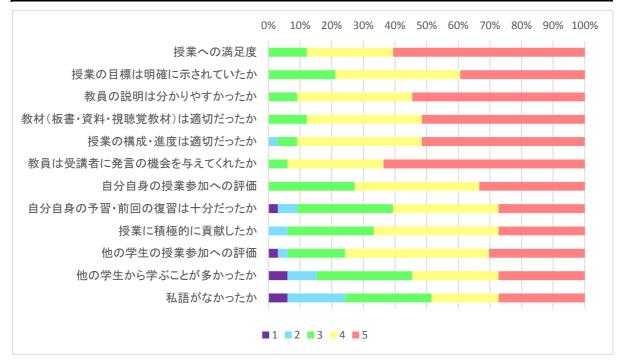
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	1	3	11	26	15	56
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	15	35	56
教員の説明は分かりやすかったか	0	6	15	23	12	56
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	3	12	23	18	56
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	14	25	14	56
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	6	32	18	56
自分自身の授業参加への評価	1	2	31	20	2	56
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	14	28	12	1	56
授業に積極的に貢献したか	2	10	26	17	1	56
他の学生の授業参加への評価	0	3	16	30	7	56
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	13	31	10	56
私語がなかったか	0	3	13	22	16	54



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	大野 ロベルト		
科目名	英語A3		
実施日	2018/7/10	配当年次	1
履修者数	46人	回答者数	33

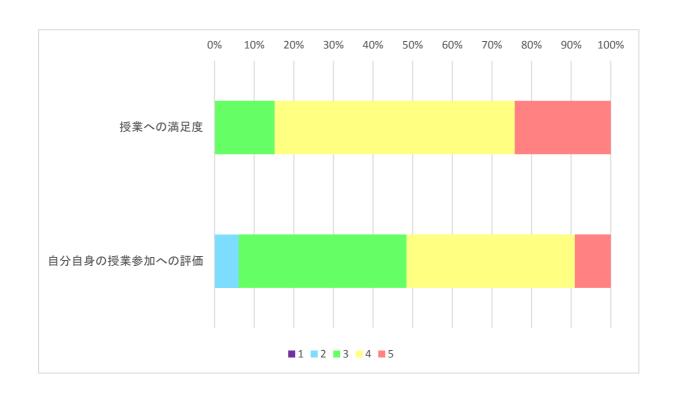
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	4	9	20	33
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	7	13	13	33
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	3	12	18	33
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	12	17	33
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	2	13	17	33
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	10	21	33
自分自身の授業参加への評価	0	0	9	13	11	33
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	2	10	11	9	33
授業に積極的に貢献したか	0	2	9	13	9	33
他の学生の授業参加への評価	1	1	6	15	10	33
他の学生から学ぶことが多かったか	2	3	10	9	9	33
私語がなかったか	2	6	9	7	9	33



会話練習をはじめとする口頭でのコミュニケーションを主眼とする授業でありながら履修者が30人を超えているため、個別の学生とのやりとりに割ける時間はわずかであり、またその間、他の学生が手持ちぶさたになるという状況も避けがたい。習熟度によるクラス分けもないため、英語を苦手とする学生に配慮すれば、英語の素養がある学生の向上心を刺激することはそのぶん難しくなる。そのなかにあって学生が概ね満足と回答していることは喜ばしいが、履修者同士が切磋琢磨しながら学び合えるような授業のデザインをさらに工夫したい。

氏名	小田 美季		
科目名	障害構造論		
実施日	2019/1/18	配当年次	2
履修者数	38	回答者数	33

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	5	20	8	33
自分自身の授業参加への評価	0	2	14	14	3	33

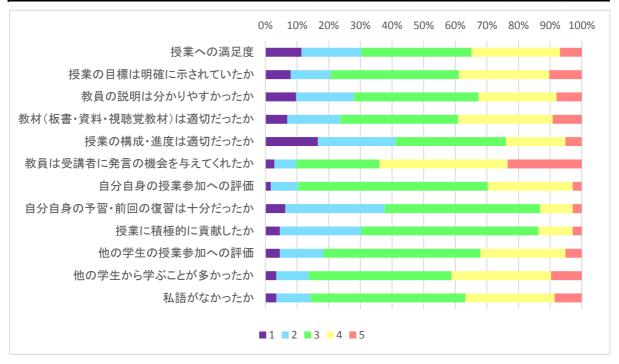


今年度の特徴は、講義期間中盤からの事例研究の際、どのグループもサービス等利用計画の作成に取り組んだことです。例年だと、個別支援計画に取り組むグループが半分ほどいますが、今年度は今までにない傾向でした。そのぶん、今年のグループは、地域を設定して、社会資源を念入りに調べる作業をしていたと言えます。グループには様々な人が参加しています。その中で、どう協働していくかということも、授業自体の目的である「障がいとは何か」を考えること以外に大きな課題となった部分もあります。

今回の受講生の共通点は、次年度、相談援助実習に臨むということです。ぜひ、この授業で学んだこと、 経験したことを実習だけではなく、実習の事前・事後指導の授業でも役立ててください。それから、グルー プ活動のことだけではなく、講義内容や配布資料も活用されてください。

氏名	小原 眞知子				
科目名	社会福祉援助技術論Ⅲ				
実施日	2019/1/23	配当年次	2		
履修者数	232	回答者数	175		

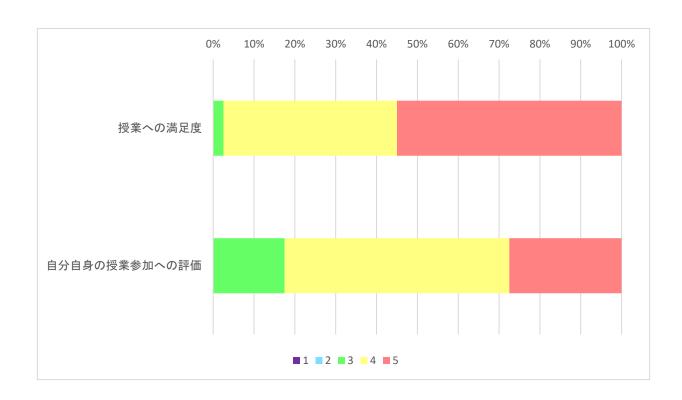
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	20	33	61	49	12	175
授業の目標は明確に示されていたか	14	22	71	50	18	175
教員の説明は分かりやすかったか	17	32	69	43	14	175
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	12	29	65	52	16	174
授業の構成・進度は適切だったか	29	43	61	33	9	175
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	5	12	46	71	41	175
自分自身の授業参加への評価	3	15	105	47	5	175
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	11	55	86	18	5	175
授業に積極的に貢献したか	8	45	98	19	5	175
他の学生の授業参加への評価	8	24	87	47	9	175
他の学生から学ぶことが多かったか	6	18	79	55	17	175
私語がなかったか	6	19	85	49	15	174



■担当者のコメント

氏名	梶原 洋生		
科目名	子ども法制論		
実施日	2019/1/11	配当年次	2
履修者数	45	回答者数	40

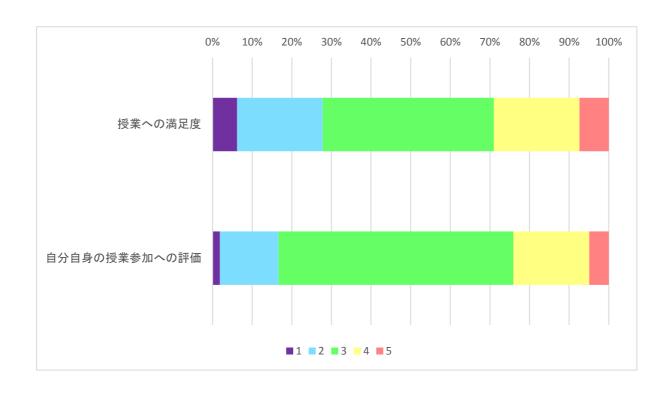
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	1	17	22	40
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	22	11	40



本年度における当該科目の授業は、シラバスに則って整合的に進められた。受講生による協力の賜物であると思料する。まずは感謝を伝えたい。実際の教室の様子としては、子どもを取り巻く昨今の社会状況をともに考えながら進める部面があり、必ずしも結論の出ない問いもありえたのだが、意見を出し合いながらアクティヴに学び合っている姿が多く見られて、やりがいが感じられた。当該科目は法学系統の授業内容として編んでいるため、教員の講じ方も使用されたテキストの本文も法律用語が多くあり、体系的な理解が求められるものであったといえる。この点は、日常の学習を促し、予習・復習を実践できるように伝えるとともに、遠慮なく質問をするよう伝えていた。全般的に、受講生はそれらを実践していたと見るが、その理解の向上をもう少し詳しく知る手立ても考案する余地があろう。今回の授業評価アンケートの内容を踏まえて、次年度以降の授業をより良く改善していきたい。

氏名	金子 恵美		
科目名	社会福祉原論Ⅱ		
実施日	2018/7/9	配当年次	4
履修者数	205人	回答者数	162

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	10	35	70	35	12	162
自分自身の授業参加への評価	3	24	96	31	8	162

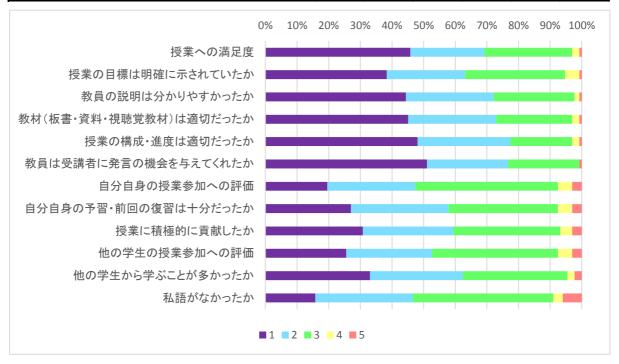


■担当者のコメント -----

前任者の授業内容の引き継ぎと、社会福祉士の必修科目であることを考慮して、狭間で試行錯誤しながらの授業展開となりました。今年度の学生のフィードバックを踏まえて、またカリキュラム改革の動向も注視して、授業内容を振り返り改善を図ります。

氏名	金子 能宏		
科目名	公的扶助論		
実施日	2018/7/27	配当年次	3
履修者数	223人	回答者数	133

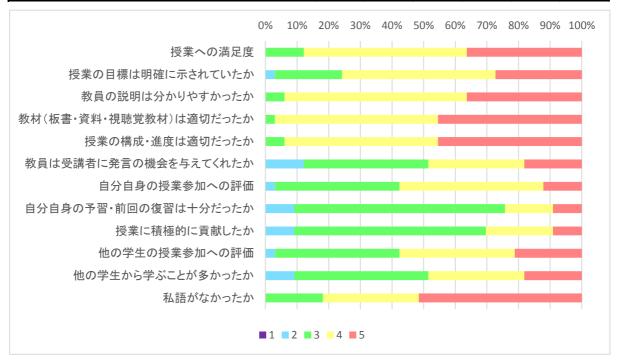
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	台計
授業への満足度	61	31	37	3	1	133
授業の目標は明確に示されていたか	51	33	42	6	1	133
教員の説明は分かりやすかったか	59	37	34	2	1	133
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	60	37	32	3	1	133
授業の構成・進度は適切だったか	64	39	26	3	1	133
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	68	34	30	0	1	133
自分自身の授業参加への評価	26	37	60	6	4	133
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	36	41	46	6	4	133
授業に積極的に貢献したか	41	38	45	5	4	133
他の学生の授業参加への評価	34	36	53	6	4	133
他の学生から学ぶことが多かったか	44	39	44	3	3	133
私語がなかったか	21	41	59	4	8	133



■担当者のコメント		

氏名	蒲生 俊宏		
科目名	障害者福祉論Ⅱ		
実施日	2018/12/14	配当年次	2
履修者数	42	回答者数	33

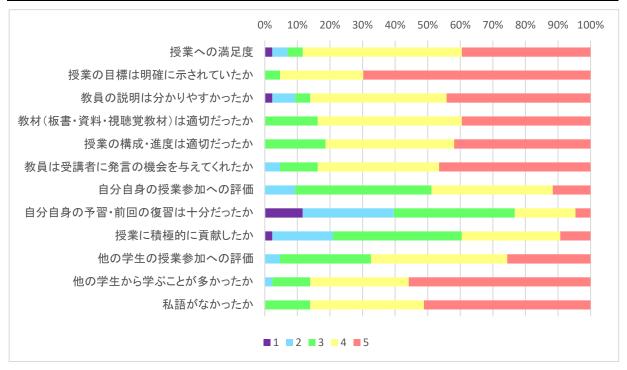
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	4	17	12	33
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	7	16	9	33
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	19	12	33
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	17	15	33
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	16	15	33
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	4	13	10	6	33
自分自身の授業参加への評価	0	1	13	15	4	33
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	3	22	5	3	33
授業に積極的に貢献したか	0	3	20	7	3	33
他の学生の授業参加への評価	0	1	13	12	7	33
他の学生から学ぶことが多かったか	0	3	14	10	6	33
私語がなかったか	0	0	6	10	17	33



77% (79人)→73% (60人)→59% (46人)→70% (41人)→39% (46人)→36% (42人) 上記の数値は、「授業への満足度:評価5」の% (履修者数)を2013年度から今年度まで並記したものである。2013年度と今年度とを単純比較すると、「授業への満足度:評価5」の%、履修者数ともにほぼ半減していることが読みとれる。ここにはどのような変数が関わっているのだろうか。資格との絡み、教員のモティベーションや年令、学生の層としての変化などなど、可能性としてはいくつも挙げられそうではある。「学科別特殊講義」の時代からの担当科目である。熟考してみたい。

氏名	菊池 いづみ			
科目名	介護保険制度論			
実施日	2018/7/6	配当年次	3	
履修者数	55人	回答者数	43	

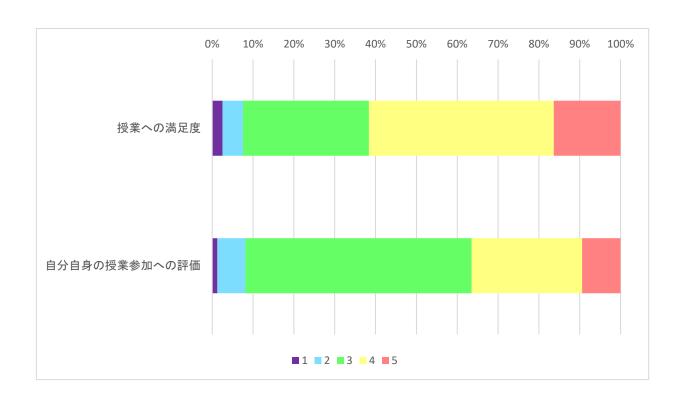
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	1	2	2	21	17	43
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	11	30	43
教員の説明は分かりやすかったか	1	3	2	18	19	43
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	7	19	17	43
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	8	17	18	43
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	5	16	20	43
自分自身の授業参加への評価	0	4	18	16	5	43
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	12	16	8	2	43
授業に積極的に貢献したか	1	8	17	13	4	43
他の学生の授業参加への評価	0	2	12	18	11	43
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	5	13	24	43
私語がなかったか	0	0	6	15	22	43



年々複雑さを増している介護保険制度は、幾度かの改正を経て今日に至っている。この授業では、地域包括ケアシステム構築に向けた近年の制度改正の背景を理解し、ミクロの実践とのかかわりにおいて、今後の制度のあり方について考える力を養成することをねらいのひとつとしている。そのため、毎回の授業テーマを明確にすることに留意してきたところ、「授業の目標は明確に示されていたか」に対して、5と4の合計の割合をみると昨年度より若干高く、また、5の回答も約7割であり、一定の成果があったものといえそうである。同時に、この授業のねらいとして重要なことは、主体的な授業参加である。その意味で、「自分自身の授業参加への評価」や「授業に積極的に貢献したか」の評価を高めることを、来年度以降の改善に向けた課題としたい。

氏名	木村 容子			
科目名	社会福祉援助技術論IV			
実施日	2018/7/23	配当年次	4	
履修者数	205人	回答者数	159	

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	4	8	49	72	26	159
自分自身の授業参加への評価	2	11	88	43	15	159



事例を用い、学んだ実践アプローチを適用して、事例の見立てや介入方法について学生から意見を出してもらい、全体で共有しながら授業を進めていく方法を取っていることに関し、理論の理解や自分の考えが深まるとのコメントが多く、本科目のねらいが伝わっていたと感じました。「レジュメとテキストがわかりやすかった」や、「(毎回の授業の冒頭にある)リアペのコメントに対するフィードバックがモチベーションアップにつながった」等のコメントもありました。

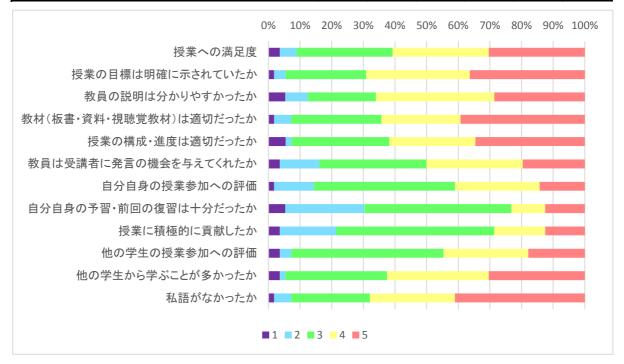
一方で、「1つの事例を扱う時間が長い」とのコメントが数人ありましたが、同じ事例を使うことで、実践アプローチの違いがより理解できるという意図が伝わっていなかったと思います。より強調したいと思います。

改善点で最も多くあがっていたのが、学生から意見をもらう順番がきちんと定められていなかったことに対し、全員に回るようにしてほしいというものでした。教室座席のどの列まで発言してもらったかをメモする等の工夫を考えます。

本授業は、予習として事例の見立てや介入方法を考えてきてもらって授業が成り立ちますが、「自分自身の努力が必要な点」に、予習をあげている学生が多くいました。予習復習することにより、理解も深まりますので、習慣づけていきましょう。

氏名	倉持 香苗		
科目名	地域福祉計画論		
実施日	2019/1/11	配当年次	3
履修者数	85	回答者数	56

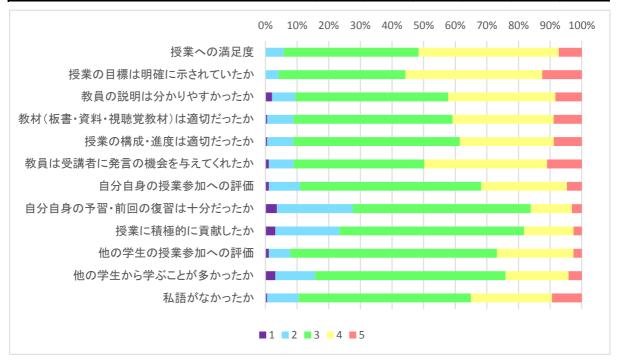
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	2	3	17	17	17	56
授業の目標は明確に示されていたか	1	2	14	18	20	55
教員の説明は分かりやすかったか	3	4	12	21	16	56
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	3	16	14	22	56
授業の構成・進度は適切だったか	3	1	17	15	19	55
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	7	19	17	11	56
自分自身の授業参加への評価	1	7	25	15	8	56
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	14	26	6	7	56
授業に積極的に貢献したか	2	10	28	9	7	56
他の学生の授業参加への評価	2	2	27	15	10	56
他の学生から学ぶことが多かったか	2	1	18	18	17	56
私語がなかったか	1	3	14	15	23	56



2コマ連続の授業で、なおかつ福祉計画学科必修科目ということで、どうすれば授業に関心を持っていただけるだろうかと考えながら授業に臨みました。昨年同様、視聴覚教材を取り入れたほか、リアクションペーパーの感想や質問を次回の授業開始時に紹介するという取り組みをおこないました。この取り組みについては受講生から、「他の受講生の意見を知ることが出来て良い」という意見をいただいています(リアクションペーパーより)。一方で、アンケート結果から、「自分自身の授業参加」「授業への積極的な貢献」「予習・前回の復習」については、もう少し受講生側の積極性が求められるのではないかという印象を受けました。授業は受講生と教員の双方で作り上げるものと考えています。受講生が主体的に学ぶ取り組みとして、授業の後半にグループワーク(全体発表含む)を取り入れました。リアクションペーパーでは、授業を聴いているだけでなく、異なる意見を持つ人が集まって計画を策定することの難しさや楽しさを感じたという感想が多数ありました。今後も、できる限りこうした学びの機会を取り入れたいと考えています。

氏名	後藤 隆			
科目名	社会福祉調査法 I			
実施日	2018/7/9	配当年次	2	
履修者数	216人	回答者数	192	

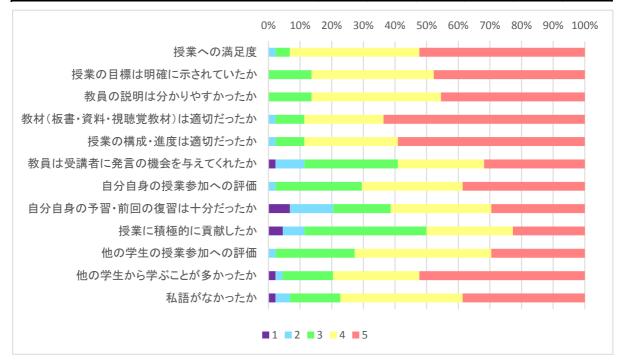
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	11	82	85	14	192
授業の目標は明確に示されていたか	0	8	77	83	24	192
教員の説明は分かりやすかったか	4	14	93	65	16	192
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	16	96	61	17	191
授業の構成・進度は適切だったか	1	16	101	57	17	192
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	15	79	74	21	191
自分自身の授業参加への評価	2	19	110	52	9	192
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	7	46	108	25	6	192
授業に積極的に貢献したか	6	39	112	30	5	192
他の学生の授業参加への評価	2	13	124	46	5	190
他の学生から学ぶことが多かったか	6	24	115	38	8	191
私語がなかったか	1	19	104	49	18	191



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	斉藤 くるみ				
科目名	人間の知性V/聴覚障害教育特講				
実施日	2018/7/27	2018/7/27 配当年次 1			
履修者数	76人	回答者数	44		

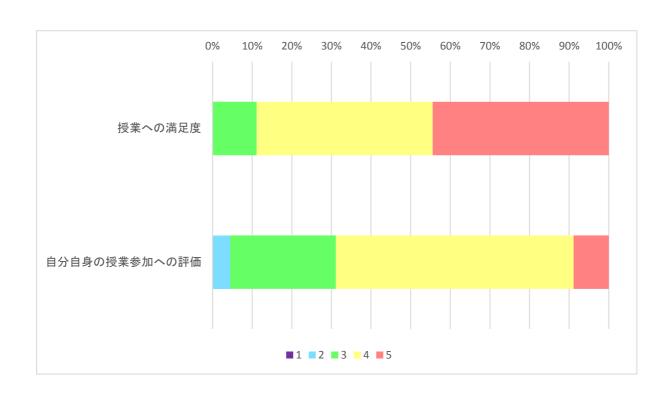
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	2	18	23	44
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	17	21	44
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	6	18	20	44
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	4	11	28	44
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	4	13	26	44
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	4	13	12	14	44
自分自身の授業参加への評価	0	1	12	14	17	44
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	6	8	14	13	44
授業に積極的に貢献したか	2	3	17	12	10	44
他の学生の授業参加への評価	0	1	11	19	13	44
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	7	12	23	44
私語がなかったか	1	2	7	17	17	44



全体的に満足度は高かった。「他の学生から学ぶことが多かった」と評価されているが、一方で発言の機会を与えてくれたか、積極的に貢献したか、という項目はやや低いのは、学生のコメントを配布して授業の内容に含めたためで、そこから学んだことは多かったが、自ら発言したり積極的に貢献することはあまりなかったということかと思われる。コメントを書かせると積極的に書いてくれたが、発言の機会と言う点では、マイクを向けても何も言わない学生が多いので難しい。マイクを向けられるのは嫌だという学生も多い。コメントを書くのならば、打ち込んで無記名で配ることができるので、自由に意見が書けるようなので、このやり方でよいと考える。

氏名	酒本 知美		
科目名	精保援技各論 I		
実施日	2019/1/8	配当年次	2
履修者数	67	回答者数	45

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	5	20	20	45
自分自身の授業参加への評価	0	2	12	27	4	45

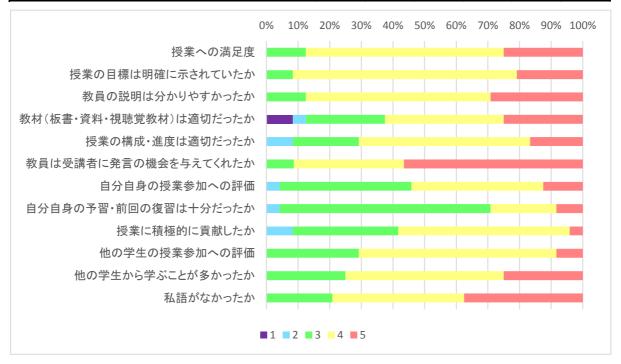


■担当者のコメント ――

授業の内容について、学生のリアクションペーパーや今回のコメントから修正すべき点を次年度に生かしたいと考えている。「早口」である点が指摘されたので、話す速度については気をつけていきたいと思った。また、時間配分については配慮していくことなど、授業運営についての見直しをしたい。

氏名	佐々木 由惠					
科目名	ケアマネジメント論(介)					
実施日	2018/7/13	配当年次	3			
履修者数	25人	回答者数	24			

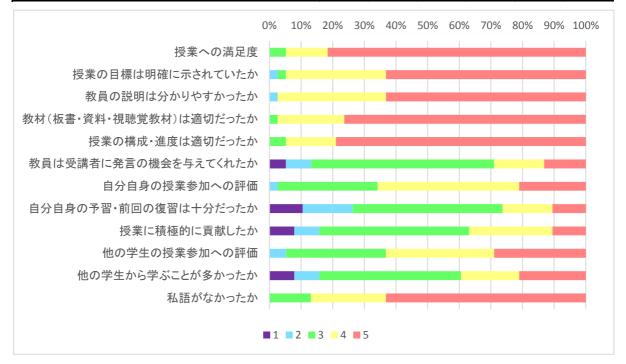
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	3	15	6	24
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	17	5	24
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	3	14	7	24
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	1	6	9	6	24
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	5	13	4	24
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	8	13	23
自分自身の授業参加への評価	0	1	10	10	3	24
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	1	16	5	2	24
授業に積極的に貢献したか	0	2	8	13	1	24
他の学生の授業参加への評価	0	0	7	15	2	24
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	6	12	6	24
私語がなかったか	0	0	5	10	9	24



担当し2年目科目であり、試行錯誤の段階です。昨年度の反省を踏まえ内容や方法を変更して行いましたが、再度構成しなおしたい部分もあります。学生にどのような部分を強化して教授したら効果的なのかアンケート結果を踏まえ熟考したい思います。多くの内容の中から何をピックアップしたら効果的な授業展開が出来るのかを組見立てなおしていきたいと思います。

氏名	佐竹 要平					
科目名	社会的養護内容B					
実施日	2019/1/8	配当年次	2			
履修者数	43	回答者数	38			

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	2	5	31	38
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	1	12	24	38
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	0	13	24	38
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	8	29	38
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	6	30	38
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	3	22	6	5	38
自分自身の授業参加への評価	0	1	12	17	8	38
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	4	6	18	6	4	38
授業に積極的に貢献したか	3	3	18	10	4	38
他の学生の授業参加への評価	0	2	12	13	11	38
他の学生から学ぶことが多かったか	3	3	17	7	8	38
私語がなかったか	0	0	5	9	24	38

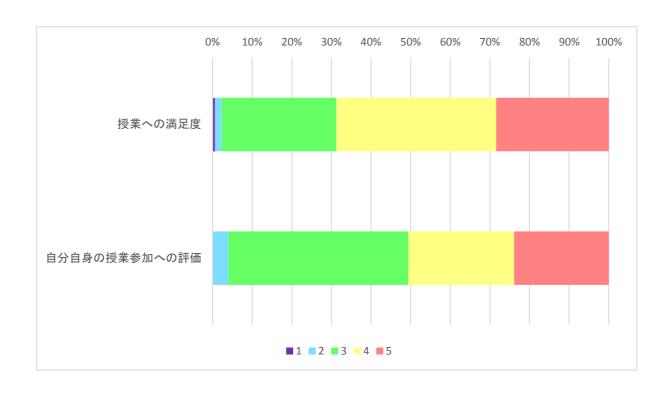


■担当者のコメント・

前年度と同様に「授業への満足度」「授業の目標は明確に示されていたか」「教員の説明は分かりやすかったか」「授業の構成・進度は適切だったか」の項目では、高い評価であったと思うが、「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」「自分自身の授業参加への評価」「自分自身の予習・前回の復習は十分だったか」「授業に積極的に貢献したか」の項目では、中程度の評価となっている。教室の特性もあり、授業内で議論したりする機会をあまり作っていない。個人の意見を発表する代わりにリアクションペーパーにおいて代替しているが今後もリアクションペーパーを活用して授業に対して能動的参加する機会を作っていきたい。

氏名	下垣 光		
科目名	心理学		
実施日	2018/7/13	配当年次	1
履修者数	215人	回答者数	176

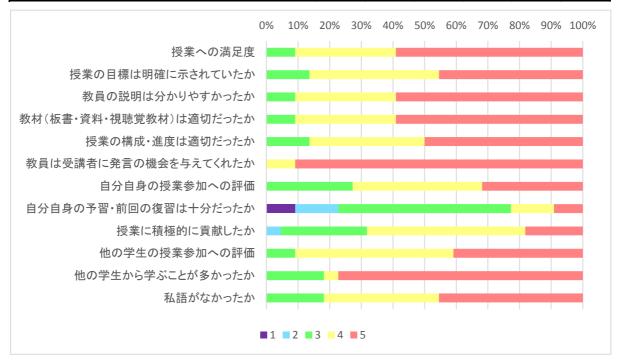
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	1	3	51	71	50	176
自分自身の授業参加への評価	0	7	80	47	42	176



■相当者のコメント		
1		

氏名	曽根 直樹		
科目名	健康福祉増進論	ì	
実施日	2019/1/11	配当年次	3
履修者数	36	回答者数	22

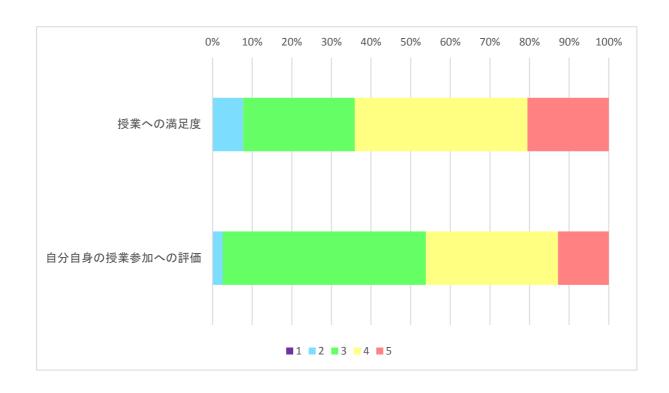
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	2	7	13	22
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	9	10	22
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	7	13	22
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	7	13	22
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	8	11	22
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	2	20	22
自分自身の授業参加への評価	0	0	6	9	7	22
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	3	12	3	2	22
授業に積極的に貢献したか	0	1	6	11	4	22
他の学生の授業参加への評価	0	0	2	11	9	22
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	4	1	17	22
私語がなかったか	0	0	4	8	10	22



「健康福祉増進論」として、コミュニケーションについて考える、自分自身を知る、相談について実践的に学ぶ、自分の相談と向き合う、をテーマに授業を構成しました。講義形式は少なくし、なるべく体験的な授業内容を取り入れてみました。また、それぞれの演習について感じたことや気づきについて発表し合い、受講者同士がお互いの視点を共有できるように授業を進めました。ひとつひとつの演習が、予想した以上に時間が必要だったため、今後は、時間配分に気をつけて授業を進めようと思います。受講者の皆さんの受講態度も、熱心だったと思います。

氏名	竹内 幸子		
科目名	科学的思考IV		
実施日	2018/6/28	配当年次	1
履修者数	56人	回答者数	39

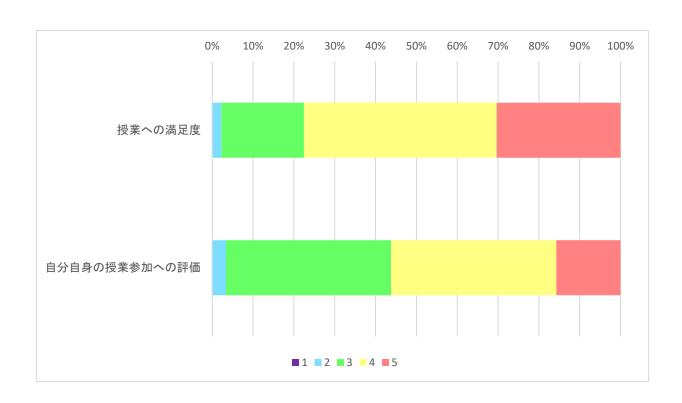
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	3	11	17	8	39
自分自身の授業参加への評価	0	1	20	13	5	39



■相当者のコメント	■担当者のコメント					
I						
1						

氏名	田村 真広			
科目名	人間の知性VI / 教育原理 I			
実施日	2018/7/10	配当年次	1	
履修者数	106人	回答者数	89	

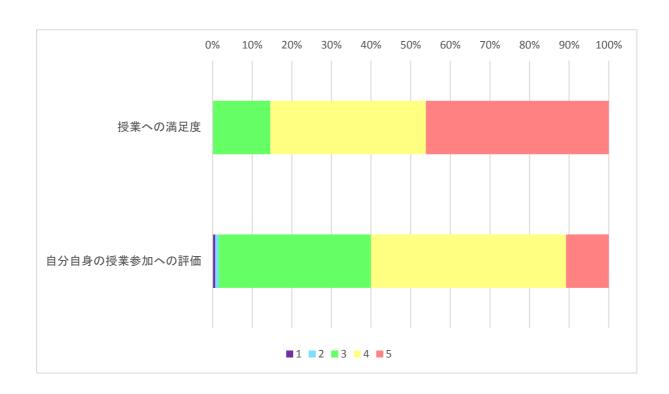
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	2	18	42	27	89
自分自身の授業参加への評価	0	3	36	36	14	89



目に止まった自由記述にお答えします。「みんなトイレに行きすぎている気がする」→同感です。せめてドアの開閉を静かに行うくらいのマナーは期待したいところです。「たまにプリントの空欄を飛ばすので飛ばさないでほしい」→ごめんなさい。気をつけます。質問を受けたときには答えていますので遠慮なくどうぞ。「板書の字が小さいので後ろの席に座ると見えません」→中段から前段に空席がたくさんありますので、前方の座席へ変えてみてください。友達から離れて独りになることを恐れずにやってみましょう。視聴覚機器の弱点は改善すべきです。自治会を通じて教務課や学生支援課に要望してください。「一方的にしゃべるのではなく、学生に発言させることで授業への関心を高めることが大切」→授業の進め方にまだ工夫の余地があるようです。今後の励みとします。「毎週、テキストや授業の内容を通して新しいことを知るだけでなく、たくさん考えられるので毎回感動しています」→ありがとうございます。今後の励みとします。

氏名	鶴岡 浩樹		
科目名	医学一般		
実施日	2018/7/5	配当年次	2
履修者数	203人	回答者数	130

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	口间
授業への満足度	0	0	19	51	60	130
自分自身の授業参加への評価	1	1	50	64	14	130

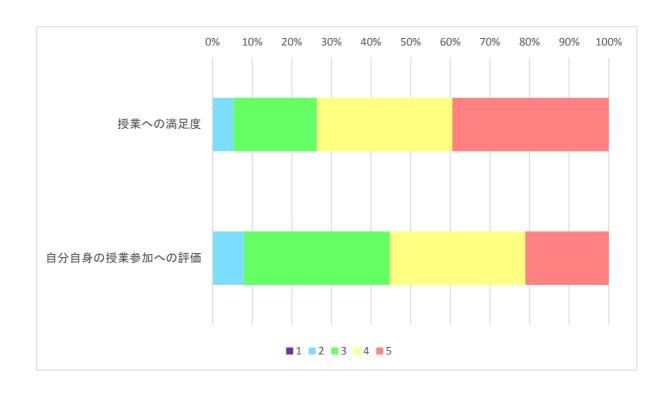


■担当者のコメント ――

授業への満足度が4と5に集中したのは嬉しい評価です。アンケートの記載を分析すると、現場の話や実践事例を織りまぜながら疾病の理解を促したこと、福祉との連結点を強調したこと、パワーポイントに要点を整理したこと等が学生さんにとって良かった点ですで。一方、リアクションペーパーのフィードバックに費やす時間が長いという指摘がありました。前年度の指摘に双方的な授業をというも声があり、今年度はリアクションペーパーを試しましたが、来年度はリアクションペーパーのやり方を変え効果的なフィードバックができるようにと思いました。

氏名	菱沼 幹男				
科目名	特講IV(社福士	特講IV(社福士基礎)			
実施日	2019/1/24	配当年次	4		
履修者数	83	回答者数	38		

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	2	8	13	15	38
自分自身の授業参加への評価	0	3	14	13	8	38

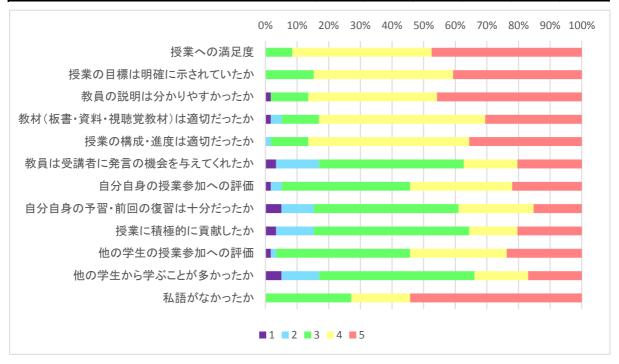


■担当者のコメント ----

この授業は、将来社会福祉士となるにあたって必要な知識を自己学習を中心に学んでいく形で進めている。また、毎回授業の冒頭に小テストを行い、自らの習得状況を確認していく機会を設けている。学生自身の主体的な取り組みが求められるが、一方で受講者が限られていることから、今後は、より多くの学生にとって受講のモチベーションにつながる工夫を考えていきたい。

氏名	藤岡 孝志				
科目名	問題を抱 I 虐待	問題を抱I虐待・トラウマ			
実施日	2019/1/25	配当年次	2		
履修者数	70	回答者数	59		

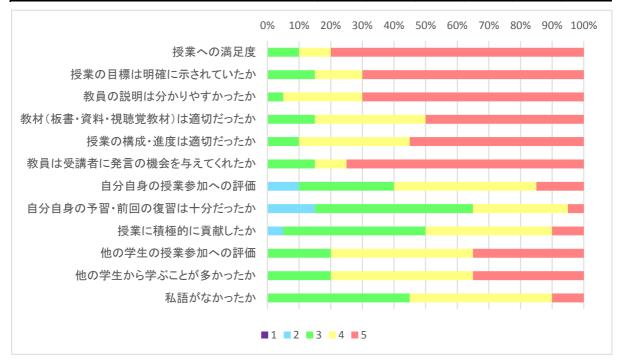
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	5	26	28	59
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	9	26	24	59
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	7	24	27	59
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	2	7	31	18	59
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	7	30	21	59
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	8	27	10	12	59
自分自身の授業参加への評価	1	2	24	19	13	59
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	6	27	14	9	59
授業に積極的に貢献したか	2	7	29	9	12	59
他の学生の授業参加への評価	1	1	25	18	14	59
他の学生から学ぶことが多かったか	3	7	29	10	10	59
私語がなかったか	0	0	16	11	32	59



■担当者のコメント

氏名	壬生 尚美			
科目名	介護概論Ⅱ(介)			
実施日	2018/7/20	配当年次	2	
履修者数	21人	回答者数	20	

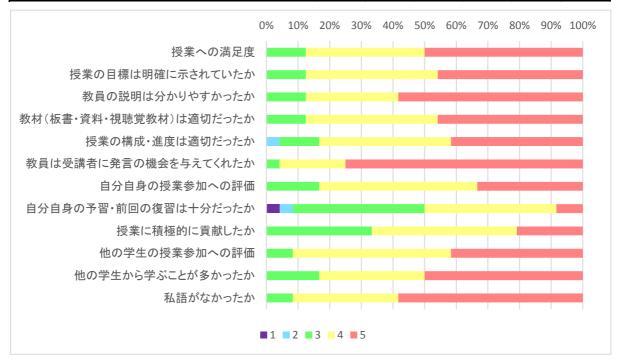
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	2	2	16	20
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	3	14	20
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	5	14	20
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	7	10	20
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	7	11	20
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	3	2	15	20
自分自身の授業参加への評価	0	2	6	9	3	20
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	3	10	6	1	20
授業に積極的に貢献したか	0	1	9	8	2	20
他の学生の授業参加への評価	0	0	4	9	7	20
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	4	9	7	20
私語がなかったか	0	0	9	9	2	20



最終授業で各学生から授業時の振り返りをした際に、学生が主体的に授業に参加できたことや、介護をする上でのいくつかの課題について考えさせられたことが多くの学びになっているとのことだった。データでも80%の学生が、授業に対する総合的な満足度が高いため、今後もこのような内容と方法で進めていきたい。特に今回は、課題提供し、それを調べ、レジュメにまとめ、分かりやすく学生が説明するというスタイルを1部取り入れた。そのことによって学生同士の意識づけになり、授業そのものの印象にも残ったようだ。講義が中心の授業ではあるが、より伝えたい課題をマッチングできる教材の選定と、学生自らが授業に参加し、デスカッションしながら具体的に考えれるようにできるよなう教授方法を今後も更に検討していきたいと考える。

氏名	宮島 清		
科目名	子どものケースマネ	ジメント	
実施日	2018/12/14	配当年次	3
履修者数	39	回答者数	24

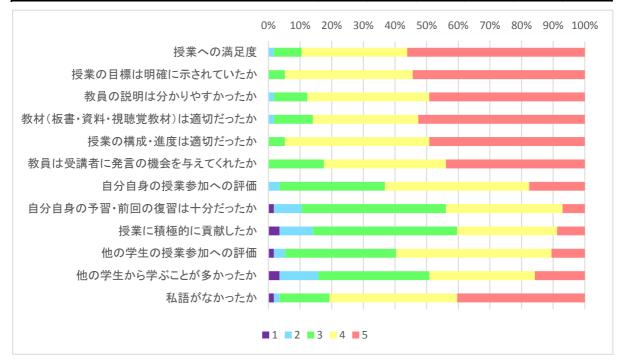
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	3	9	12	24
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	10	11	24
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	3	7	14	24
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	10	11	24
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	3	10	10	24
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	5	18	24
自分自身の授業参加への評価	0	0	4	12	8	24
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	10	10	2	24
授業に積極的に貢献したか	0	0	8	11	5	24
他の学生の授業参加への評価	0	0	2	12	10	24
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	4	8	12	24
私語がなかったか	0	0	2	8	14	24



3年生の11月からの集中講義です。編入の4年生も含めて、社会福祉士実習の終わった時期にあたります。初回に、皆さんの半年後1年半後の自分自身のイメージについて、お聞きする所から講義をはじめました。その後は、ほぼ毎回、事例を示し、これを丁寧に振り返りながら、ソーシャルワーク実践、特にケースマネジメントの方法で、「実際に、どのように対処するか」を考え合いました。「個人で考える。」「数人で話し合う。」「話し合った内容などを述べてもらって、全体で考える。」を繰り返すという進め方でした。今年度は、講義が始まる前にも、講義が終了した後でも、社会的に注目された虐待死事件がありました。この講義で、分ち合った内容が、受講された皆さんの「実践力」の基盤づくりに、少しでも役に立つことを願います。ソーシャルワーカーという仕事は、とても難しいですが、同時に、本当に重要で魅力的です。

氏名	村田 文世		
科目名	地方自治論		
実施日	2018/7/17	配当年次	3
履修者数	90人	回答者数	57

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	5	19	32	57
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	23	31	57
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	6	22	28	57
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	7	19	30	57
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	26	28	57
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	10	22	25	57
自分自身の授業参加への評価	0	2	19	26	10	57
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	5	26	21	4	57
授業に積極的に貢献したか	2	6	26	18	5	57
他の学生の授業参加への評価	1	2	20	28	6	57
他の学生から学ぶことが多かったか	2	7	20	19	9	57
私語がなかったか	1	1	9	23	23	57

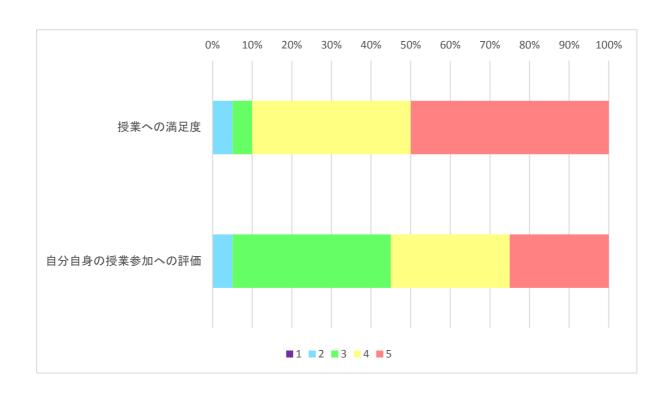


■担当者のコメント・

授業内容、教育方法については、毎回のレジュメの使用、関連する行政資料や住民自治に関するDVD視聴、新聞資料等の具体的な教材を利用して、学生の理解を促進し興味喚起を試みた。アンケート結果からは概ね高い評価を得ることができたと考える。また、参加に向けた仕掛けとして、財政データ分析、DVD視聴後のディスカッションやリアクションペーパーの共有化を通して、学生の発言や意見交換の場を提供した。一定の教育的効果に繋がったと評価する。その他、遅刻や私語も少なく静寂な教育環境を確保できた一方で、予習・復習、自主的な学習を促す機会の提供に関しては課題も残り、今後は、主体的な取組に向けてレポート課題などを検討したい。

氏名	森 千佐子		
科目名	介護技術演習Ⅱ	(介)	
実施日	2018/7/23	配当年次	2
履修者数	21人	回答者数	20

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	1	8	10	20
自分自身の授業参加への評価	0	1	8	6	5	20



授業の満足度については、9割の学生が4または5と評価しているが、1名は2と評価している。自由記述からは理由がわからないが、毎回、学生の理解度や満足度を確認しながら、授業を進めたい。

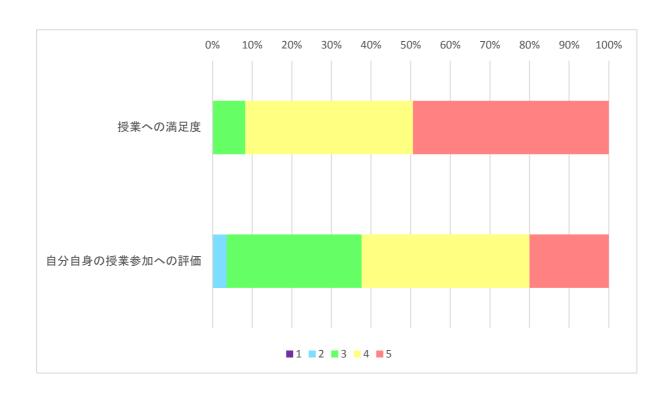
介護技術について、根拠や留意点を確認してから実践するという方法は理解しやすかったようであり、利用者体験からの学びも得られたように思う。また、グループディスカッションにより、他の学生の考えを知ることができた、という記述もあっり、学びの共有が図れた思われる。

今年度は演習に使用する用具を新たに購入したが、用具の清潔感がない、数が足りないという意見があった。演習物品を計画的に購入し、整備していきたい。

学生自身の努力については、事前学習や復習が足りないと書かれていた。基本的には学生の自主性に 委ねたいが、予習や技術確認ができるような課題や仕組みを作ることを検討したい。

氏名	山田 憲児		
科目名	更生保護制度		
実施日	2018/7/23	配当年次	3
履修者数	197人	回答者数	85

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	7	36	42	85
自分自身の授業参加への評価	0	3	29	36	17	85



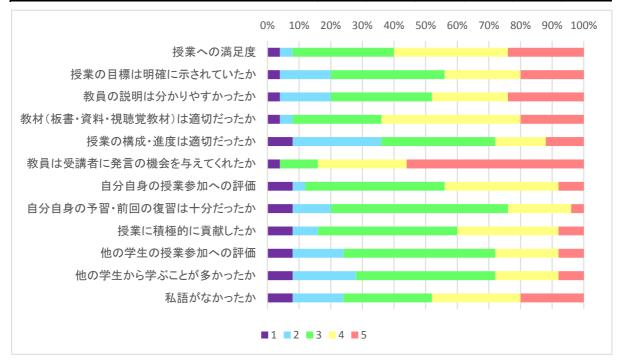
■担当者のコメント ----

更生保護制度を単に教科書的に教えるのではなく、生きた更生保護、実際の更生保護、施策の社会的背景などを伝えることに努め、パワーポイント、ビデオなどの教材の充実に努めた(ビデオ上映本数6本、補講3回)。授業で良かった点として、「分かりやすかった」、「リアクションペーパーに応えてくれた」「国試の過去間を取り上げた」「ビデオが観れた「現場の話を聴けた」などであり、改善した方がよかった点として、「講義数が少ない」であった。伝えたい内容に比して、コマが足りない感がある。

2-2. 非常勤講師等

氏名	相原 勝		
科目名	初級ドイツ語A		
実施日	2018/7/30	配当年次	1
履修者数	50人	回答者数	25

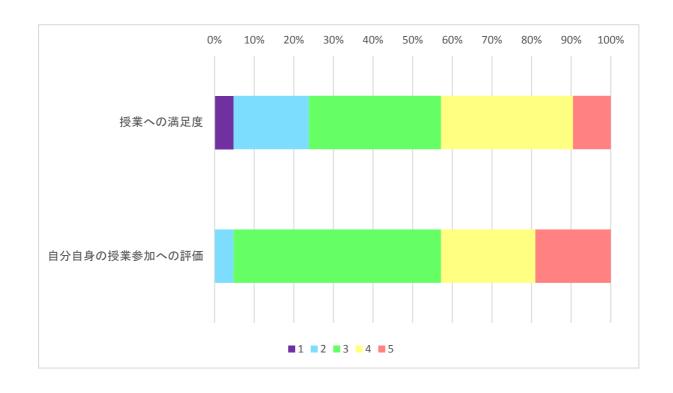
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	1	1	8	9	6	25
授業の目標は明確に示されていたか	1	4	9	6	5	25
教員の説明は分かりやすかったか	1	4	8	6	6	25
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	7	11	5	25
授業の構成・進度は適切だったか	2	7	9	4	3	25
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	0	3	7	14	25
自分自身の授業参加への評価	2	1	11	9	2	25
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	3	14	5	1	25
授業に積極的に貢献したか	2	2	11	8	2	25
他の学生の授業参加への評価	2	4	12	5	2	25
他の学生から学ぶことが多かったか	2	5	11	5	2	25
私語がなかったか	2	4	7	7	5	25



週一回、半年間だけで、はじめての外国語を教えるのは、たいへんむずかしいと感じる。

氏名	秋島 恵子					
科目名	家政学概論Ⅱ⑵	家政学概論Ⅱ(介)				
実施日	2018/6/15	配当年次	2			
履修者数	21人	回答者数	21			

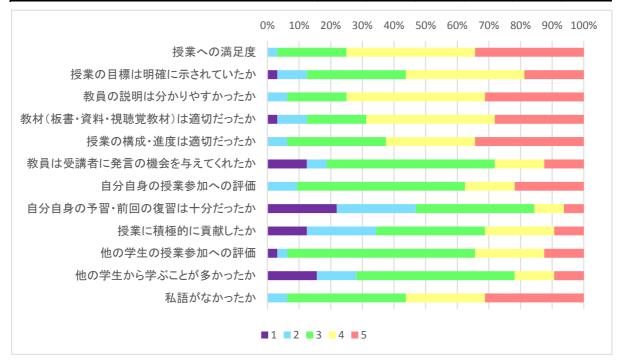
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	1	4	7	7	2	21
自分自身の授業参加への評価	0	1	11	5	4	21



■担当者のコメント・			
1			

氏名	阿部 美樹雄			
科目名	援)施設処遇法・福祉と経営(施設)			
実施日	2018/12/20	配当年次	3	
履修者数	60	回答者数	32	

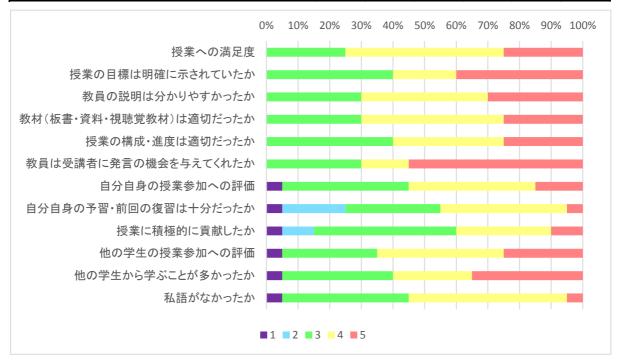
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	7	13	11	32
授業の目標は明確に示されていたか	1	3	10	12	6	32
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	6	14	10	32
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	3	6	13	9	32
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	10	9	11	32
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	2	17	5	4	32
自分自身の授業参加への評価	0	3	17	5	7	32
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	7	8	12	3	2	32
授業に積極的に貢献したか	4	7	11	7	3	32
他の学生の授業参加への評価	1	1	19	7	4	32
他の学生から学ぶことが多かったか	5	4	16	4	3	32
私語がなかったか	0	2	12	8	10	32



私の講義は福祉の現場についての解説、関連する理論の紹介などが中心となる。さらに、わかりやすく、また障害者福祉に興味をもって学んでいただきたいと思っている。

氏名	池田 幸也			
科目名	特別活動研究(教)			
実施日	2018/7/23	配当年次	2	
履修者数	20人	回答者数	20	

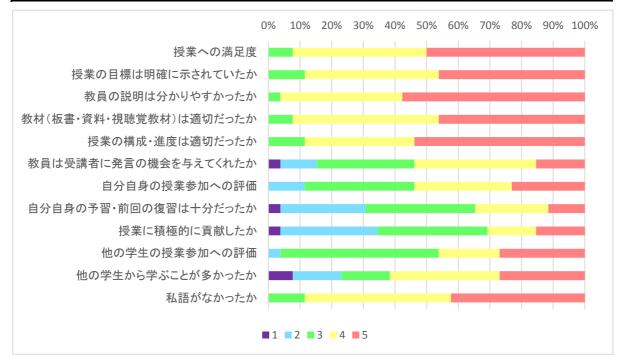
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	5	10	5	20
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	8	4	8	20
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	6	8	6	20
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	6	9	5	20
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	8	7	5	20
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	6	3	11	20
自分自身の授業参加への評価	1	0	8	8	3	20
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	4	6	8	1	20
授業に積極的に貢献したか	1	2	9	6	2	20
他の学生の授業参加への評価	1	0	6	8	5	20
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	7	5	7	20
私語がなかったか	1	0	8	10	1	20



授業への満足度を改善するためには、授業方法の改善とともに、学生の事前事後の学習や学習に取組む契機を提供することも必要と考える。従って、今後は学生自身の授業参加意欲や積極的に予習復習の機会を提供できるよう改善に努めたい。

氏名	石川 輝吉		
科目名	人間の知性Ⅷ		
実施日	2018/7/26	配当年次	1
履修者数	33人	回答者数	26

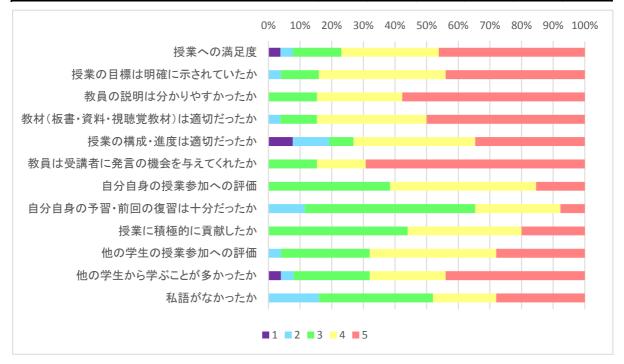
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	2	11	13	26
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	11	12	26
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	10	15	26
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	12	12	26
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	9	14	26
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	3	8	10	4	26
自分自身の授業参加への評価	0	3	9	8	6	26
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	7	9	6	3	26
授業に積極的に貢献したか	1	8	9	4	4	26
他の学生の授業参加への評価	0	1	13	5	7	26
他の学生から学ぶことが多かったか	2	4	4	9	7	26
私語がなかったか	0	0	3	12	11	26



満足度や授業の目標、教員の説明については評価が高かったが、学生の発言の機会については、他に比べてあまり評価が高いとはいえない。講義授業のため、リアクションペーパーの紹介で学生の参加する授業づくりを工夫しているが、この点を、もっと学生に周知していきたい。そのことによって、学生の授業への貢献の意識も高まると思われる。

氏名	井堂 有子			
科目名	国際社会福祉論			
実施日	2018/7/27	配当年次	1	
履修者数	36人	回答者数	26	

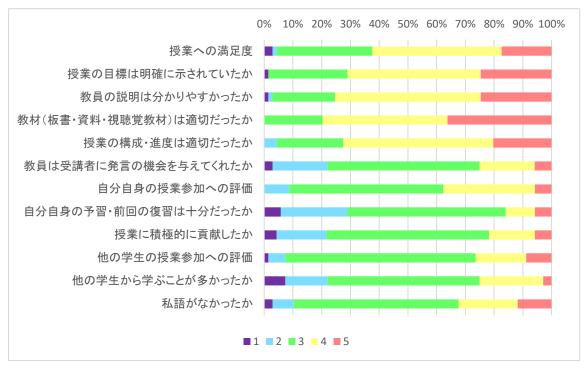
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	1	1	4	8	12	26
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	3	10	11	25
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	7	15	26
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	3	9	13	26
授業の構成・進度は適切だったか	2	3	2	10	9	26
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	4	4	18	26
自分自身の授業参加への評価	0	0	10	12	4	26
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	3	14	7	2	26
授業に積極的に貢献したか	0	0	11	9	5	25
他の学生の授業参加への評価	0	1	7	10	7	25
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	6	6	11	25
私語がなかったか	0	4	9	5	7	25



15回の講義としては、課題提出やグループワーク、グループ発表、そして最後の筆記試験と、かなりディマンディングな構成となっていたかもしれませんが、途中で断念せず最後まで貫徹された履修者の皆さん、本当にお疲れ様でした。グループ発表ではほぼ全員が積極的に取り組み、非常にレベルの高いプレゼン資料を準備してくださったチームが多くあり、クラス全体に大きな学びの機会を与えて下さいました。もう少しグループ発表の時間を確保すべきであったと大いに反省しております。また、プレゼンでとても高い評価を得た履修者の方が多かった一方、通常の出席点や課題の未提出などでどうしても辛い最終評価にならざるを得ない事例も散見され、この点を残念に思いました。最終評価にかかわらず、今後も国際問題に関心を持ち続けていって頂きたいと強く願う次第です。

氏名	大島 千帆		
科目名	福祉環境論		
実施日	2018/7/5	配当年次	2
履修者数	84人	回答者数	69

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	2	1	23	31	12	69
授業の目標は明確に示されていたか	1	0	19	32	17	69
教員の説明は分かりやすかったか	1	1	15	35	17	69
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	14	30	25	69
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	16	36	14	69
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	13	36	13	4	68
自分自身の授業参加への評価	0	6	37	22	4	69
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	4	16	38	7	4	69
授業に積極的に貢献したか	3	12	39	11	4	69
他の学生の授業参加への評価	1	4	45	12	6	68
他の学生から学ぶことが多かったか	5	10	36	15	2	68
私語がなかったか	2	5	39	14	8	68

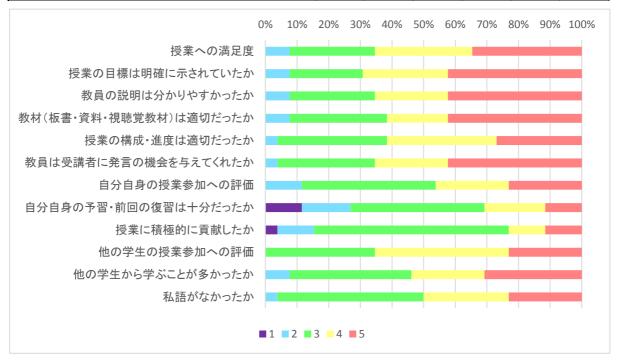


■担当者のコメントー

大講義室での講義であったことも影響し、アンケート結果にあるように「受講者による発言の機会」「他の学生から学ぶことが多かったか」については満足度が低い結果になった点は反省すべき点である。 リアクションペーパーへの回答などにより、受講生から出された質問や論点の共有を試みたが、不十分であったことも結果から読み取ることができた。今後はこれらの点について改善できるよう取り組みたい。

氏名	大滝 修		
科目名	生徒指導論(教)		
実施日	2018/7/3	配当年次	3
履修者数	34人	回答者数	26

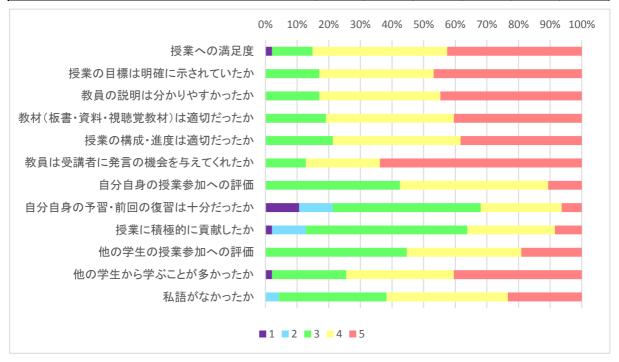
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	口面
授業への満足度	0	2	7	8	9	26
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	6	7	11	26
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	7	6	11	26
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	8	5	11	26
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	9	9	7	26
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	8	6	11	26
自分自身の授業参加への評価	0	3	11	6	6	26
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	4	11	5	3	26
授業に積極的に貢献したか	1	3	16	3	3	26
他の学生の授業参加への評価	0	0	9	11	6	26
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	10	6	8	26
私語がなかったか	0	1	12	7	6	26



積極的に参加し、意見を述べる学生が多い印象でした。聴覚障害の学生に対応した授業をする経験は初めてのため、通訳者・学生に苦労を掛けてしまいました。グループ学習中心に進めましたが、個々の役割を見つけて協力する姿が見られ、充実した発表が多かったと思います。毎回ワークシートの提出で出欠席を確認しましたが、連続して欠席をする学生や、未提出の学生が後半目立ったことが残念でした。後半、一部にグループ学習中に携帯電話の使用も見られたことがあり、授業の参加の姿勢を考えさせることが必要でした。

氏名	岡田 早苗		
科目名	保育者論		
実施日	2018/7/6	配当年次	2
履修者数	62人	回答者数	47

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	口面
授業への満足度	1	0	6	20	20	47
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	8	17	22	47
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	8	18	21	47
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	9	19	19	47
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	10	19	18	47
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	6	11	30	47
自分自身の授業参加への評価	0	0	20	22	5	47
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	5	22	12	3	47
授業に積極的に貢献したか	1	5	24	13	4	47
他の学生の授業参加への評価	0	0	21	17	9	47
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	11	16	19	47
私語がなかったか	0	2	16	18	11	47



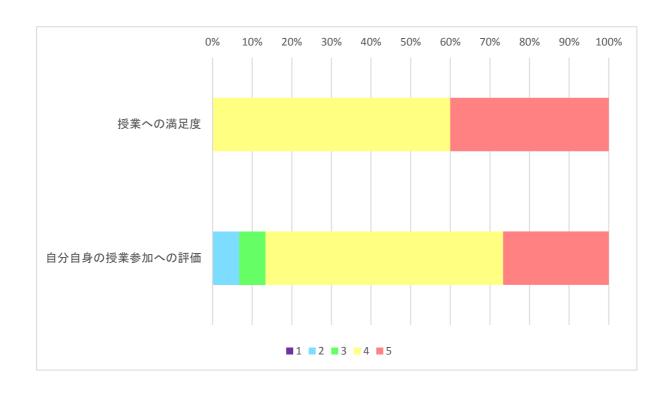
■担当者のコメント・

グループディスカッションの機会を多くつくったことが評価の結果に表れているように思われる。特に、「他の学生から学ぶことが多かったか」という問いに対して5段階の回答が多かった点は、教員からの学びだけではなく、学生相互の学び合いが深められたことが伺われる。

周りの学生は授業に積極的に参加しているが自分はそうでもない、としている学生が数名いることが数字から見て取れるが、実際の授業の様子でも見受けられるところである。しかし、総じて学生の学びへの意欲は高いと感じている。

氏名	小口 偉						
科目名	保育表現技術 I	保育表現技術 I C1(保)					
実施日	2019/1/12	配当年次	2				
履修者数	20	回答者数	15				

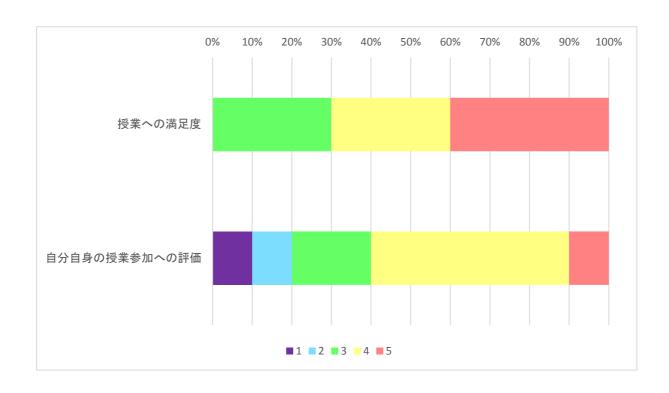
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	0	9	6	15
自分自身の授業参加への評価	0	1	1	9	4	15



■担当者のコメント		
I		
1		

氏名	奥山 けい子		
科目名	人間の知性X I		
実施日	2018/6/29	配当年次	1
履修者数	14人	回答者数	10

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	3	3	4	10
自分自身の授業参加への評価	1	1	2	5	1	10

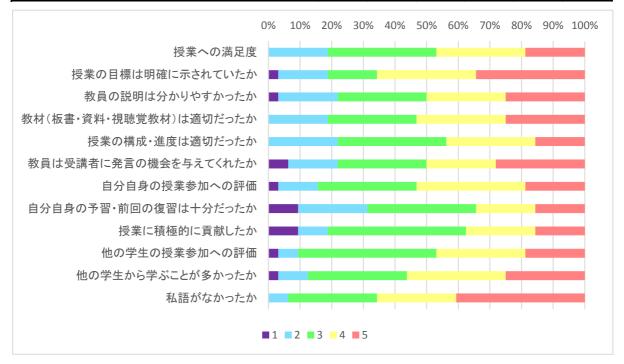


■担当者のコメント ——

学生自身の希望で履修する科目のためか、とても熱心に講義を聞いてくれるので、ありがたいです。コメントは高校までの音楽体験と比較し書いてくれる人が多く、読んでいる私が感心したり学んだりしています。毎回の90分を生かして、今後の音楽生活や社会人になってからの教養に役立ててください。

氏名	織田 正昭			
科目名	子どもの保健 I (保)			
実施日	2018/7/20	配当年次	3	
履修者数	34人	回答者数	32	

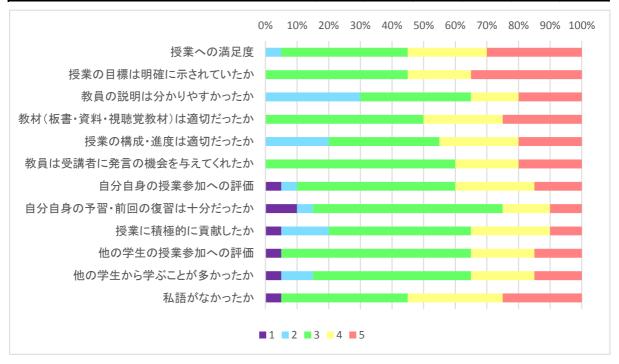
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	6	11	9	6	32
授業の目標は明確に示されていたか	1	5	5	10	11	32
教員の説明は分かりやすかったか	1	6	9	8	8	32
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	6	9	9	8	32
授業の構成・進度は適切だったか	0	7	11	9	5	32
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	5	9	7	9	32
自分自身の授業参加への評価	1	4	10	11	6	32
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	7	11	6	5	32
授業に積極的に貢献したか	3	3	14	7	5	32
他の学生の授業参加への評価	1	2	14	9	6	32
他の学生から学ぶことが多かったか	1	3	10	10	8	32
私語がなかったか	0	2	9	8	13	32



授業は(I)と(II)合わせて3コマ連続していたが、アンケート結果をみると学生は講義に対して好意的な評価をしており、個人的にはやや予想外(?)であった。学生自身の自己評価はきちんと出来ており、授業目的をしっかり理解しつつ積極的に授業に取り組んでいた結果が表れていると思われる。講義ではビデオ教材を積極的に使用し、ビデオ内容に関する各自の感想やコメントを毎回その場で書いて提出していただいたが、これを通して学生自身が自分の考えをきちっと文章にまとめ上げる力がかなりついたものと思われ、これもアンケート結果に表れていると思われる。総じてアンケート結果は十分理解できる。

氏名	風間 みどり			
科目名	発達心理学Ⅱ(教)			
実施日	2018/7/25	配当年次	2	
履修者数	20人	回答者数	20	

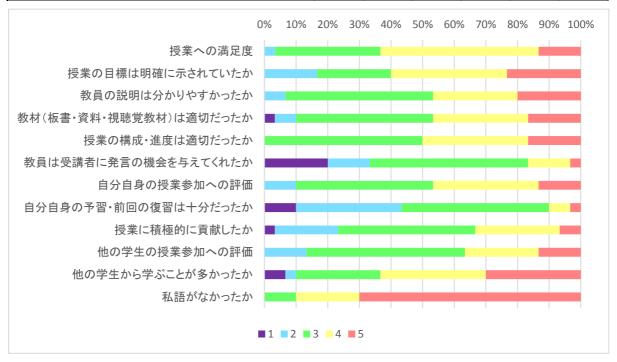
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	8	5	6	20
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	9	4	7	20
教員の説明は分かりやすかったか	0	6	7	3	4	20
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	10	5	5	20
授業の構成・進度は適切だったか	0	4	7	5	4	20
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	12	4	4	20
自分自身の授業参加への評価	1	1	10	5	3	20
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	1	12	3	2	20
授業に積極的に貢献したか	1	3	9	5	2	20
他の学生の授業参加への評価	1	0	12	4	3	20
他の学生から学ぶことが多かったか	1	2	10	4	3	20
私語がなかったか	1	0	8	6	5	20



多くの学生は授業に対して真面目に取り組み、3回の試験も一生懸命取り組んでいました。授業目標や教材については、わたくし自身もよく吟味して授業を構成するように心がけて、またできる限り最新の研究や重要な心理学的テーマを網羅するようにしてきました。一方、わかりやすい授業への取り組み、学生が発言する時間の確保などについては、今後、まだまだ改善する必要があることを認識しました。今後は、知識を伝授することが主体の教授方法だけではなく、学生たちの自主的学習を引き出せるアクティブラーニングの手法を積極的に取り入れる必要であると考えています。

氏名	柏木 宏介			
科目名	子ども臨床教育心理学			
実施日	2018/12/19	配当年次	2	
履修者数	40	回答者数	30	

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	10	15	4	30
授業の目標は明確に示されていたか	0	5	7	11	7	30
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	14	8	6	30
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	2	13	9	5	30
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	15	10	5	30
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	6	4	15	4	1	30
自分自身の授業参加への評価	0	3	13	10	4	30
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	10	14	2	1	30
授業に積極的に貢献したか	1	6	13	8	2	30
他の学生の授業参加への評価	0	4	15	7	4	30
他の学生から学ぶことが多かったか	2	1	8	10	9	30
私語がなかったか	0	0	3	6	21	30

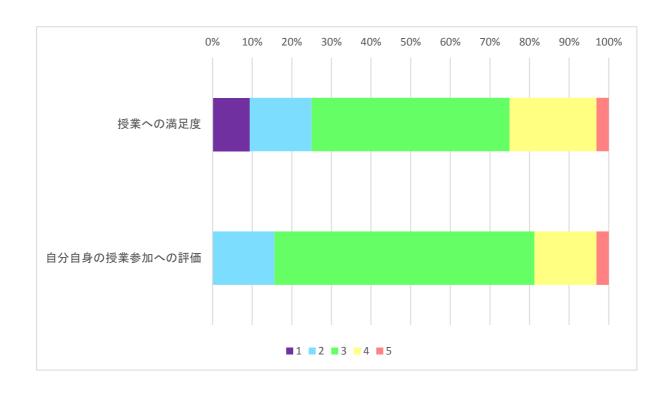


■担当者のコメント・

本講義は、大多数の受講生が心理学を専門としない。そんな中、専門に関係なく、子供を取り巻く問題に関心を持って頂けたらと考え、子供に関する時事的な話題を交えて講義した。全講義で、様々な課題に取り組んで頂いた。課題に熱心に取り組む学生の存在は、励みであった。代筆に依存して課題を提出する学生は、このところ減少の傾向が続いており、非常に嬉しい。しかしながら、「ひらがな」ばかりでの記載や、誤字・脱字、乱筆・乱文の学生が散見された。課題や試験での解答に際しては、大学生であるとの自覚を持ち、筆記して欲しい。今後も、本講義が、学生諸君にとって、子供に関する正しい認識や心理学への興味を持つ契機となれば、と思う。

氏名	片岡 了				
科目名	社会教育施設論	社会教育施設論			
実施日	2018/8/4	配当年次	2		
履修者数	46人	回答者数	32		

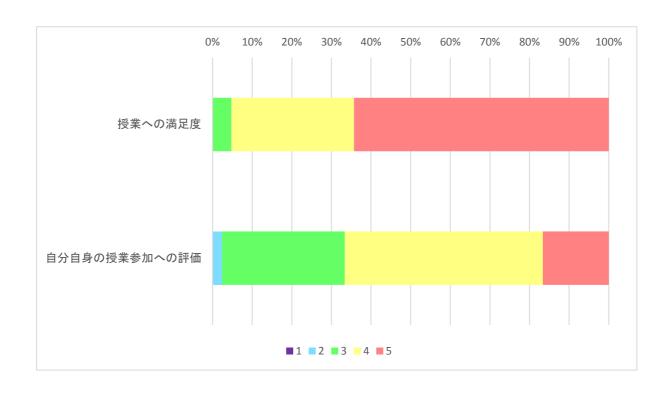
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	3	5	16	7	1	32
自分自身の授業参加への評価	0	5	21	5	1	32



■相当者のコメント		
1		

氏名	嘉手納 悟			
科目名	問題を抱える子どもへの支援Ⅲ非行不登校(非行・不登校等)			
実施日	2018/7/13	配当年次	3	
履修者数	60人	回答者数	42	

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	2	13	27	42
自分自身の授業参加への評価	0	1	13	21	7	42



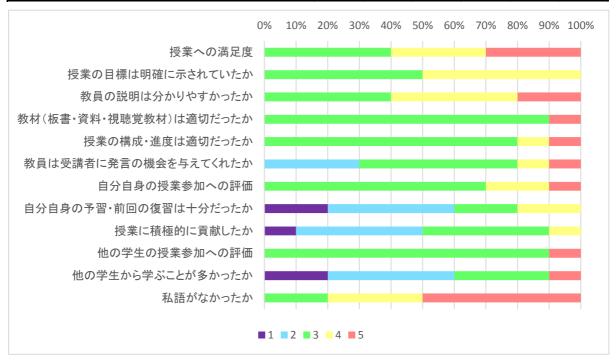
■担当者のコメント ——

数年前から始めたグループワークに関して、良かったという感想を多くいただけて嬉しく思いました。グループ分けの仕方や人数などについてはまだまだ改善の余地があると思うので、次年度以降工夫していきたいと思います。

今後も、単なる知識だけでなく、現場の状況など、なるべく生きた情報を伝えられるような授業を作っていきたいと考えています。

氏名	金岡 秀郎		
科目名	人間の知性X		
実施日	2018/7/5	配当年次	1
履修者数	13人	回答者数	10

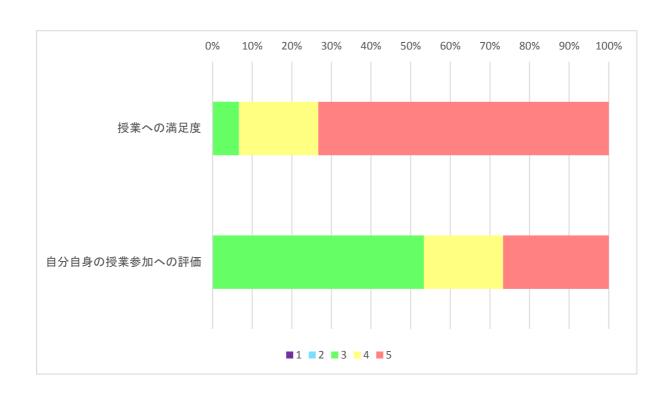
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	4	3	3	10
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	5	5	0	10
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	4	2	10
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	9	0	1	10
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	8	1	1	10
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	3	5	1	1	10
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	2	1	10
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	4	2	2	0	10
授業に積極的に貢献したか	1	4	4	1	0	10
他の学生の授業参加への評価	0	0	9	0	1	10
他の学生から学ぶことが多かったか	2	4	3	0	1	10
私語がなかったか	0	0	2	3	5	10



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	榧 陽子•棚田	茂				
科目名	聴覚障害児指導法 I					
実施日	2018/12/22	配当年次	3			
履修者数	17	回答者数	15			

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	스킴
	1	2	3	4	5	→ 合計
授業への満足度	0	0	1	3	11	15
自分自身の授業参加への評価	0	0	8	3	4	15

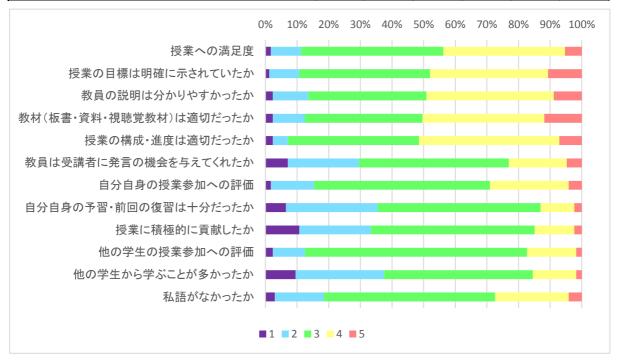


■担当者のコメント ----

今年度から私立ろう学校だけでなく、公立ろう学校の教員も一緒に講義を担当したが、特別支援教育についてより幅広く学んでもらえたようで安堵しました。また、現場で働いていることの良さを生かして、学校見学や様々なビデオ紹介、指導案作成や模擬授業など、実践的な内容が多く取り入れたこともよかったようです。来年度も同じようにより具体的でより深い内容を目指していきたいと思います。

氏名	加山 弾		
科目名	地域福祉論Ⅱ		
実施日	2018/7/3	配当年次	2
履修者数	226人	回答者数	169

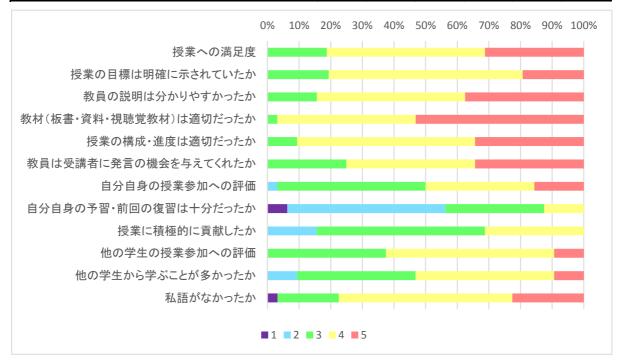
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	3	16	76	65	9	169
授業の目標は明確に示されていたか	2	16	70	63	18	169
教員の説明は分かりやすかったか	4	19	63	68	15	169
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	4	17	63	65	20	169
授業の構成・進度は適切だったか	4	8	70	75	12	169
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	12	38	80	31	8	169
自分自身の授業参加への評価	3	23	94	42	7	169
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	11	49	87	18	4	169
授業に積極的に貢献したか	18	38	87	21	4	168
他の学生の授業参加への評価	4	17	118	26	3	168
他の学生から学ぶことが多かったか	16	47	79	23	3	168
私語がなかったか	5	26	91	39	7	168



多くの受講者が熱心に聴講してくださり、授業後には質問に来る方も何人かおられたので、担当者としてもやりがいをもって臨むことができた。また授業でNPO団体について取り上げた際には、そこでボランティア活動がしたいと申し出た方もいて、実際の活動につながったためとても印象的だった。地域福祉の実践や政策についての講義であったため、多くの受講者が身近な地域に引きつけて聞いていただけたのはよかった。反面、授業中に聞こうとしない受講者、私語をやめない受講者も多く苦慮した。

氏名	河合 恒		
科目名	ハ・イオメカニクス		
実施日	2018/6/4	配当年次	3
履修者数	39人	回答者数	32

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	6	16	10	32
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	19	6	31
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	5	15	12	32
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	14	17	32
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	18	11	32
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	8	13	11	32
自分自身の授業参加への評価	0	1	15	11	5	32
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	16	10	4	0	32
授業に積極的に貢献したか	0	5	17	10	0	32
他の学生の授業参加への評価	0	0	12	17	3	32
他の学生から学ぶことが多かったか	0	3	12	14	3	32
私語がなかったか	1	0	6	17	7	31



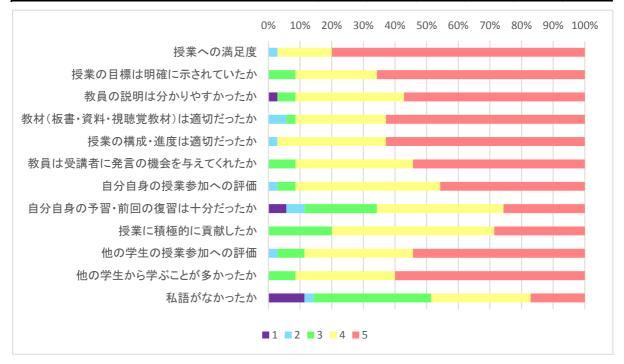
■担当者のコメント・

授業の目標、内容についてはよく伝わっていたようなので、引き続きパワーポイントを活用した授業を行っていきたい。

学生の授業参加に関する項目でやや評価が低いので、測定やグループワークを活用して、学生の授業参加や、積極的貢献をさらに促していけるようにしていきたい。

氏名	川口 潤子・馬場	· 千晶					
科目名	保育内容演習V	保育内容演習V(表現)					
実施日	2019/1/19	配当年次	2				
履修者数	37	回答者数	35				

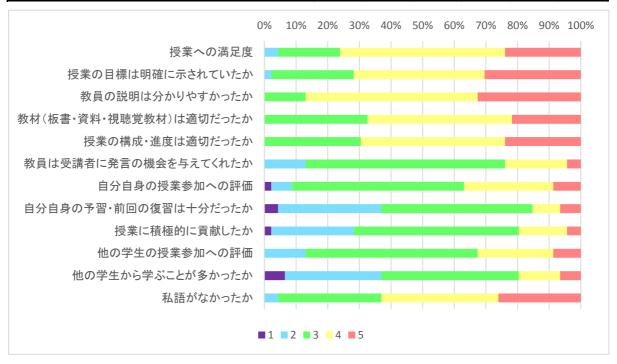
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	0	6	28	35
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	9	23	35
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	2	12	20	35
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	1	10	22	35
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	0	12	22	35
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	3	13	19	35
自分自身の授業参加への評価	0	1	2	16	16	35
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	2	8	14	9	35
授業に積極的に貢献したか	0	0	7	18	10	35
他の学生の授業参加への評価	0	1	3	12	19	35
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	3	11	21	35
私語がなかったか	4	1	13	11	6	35



最後の授業で行った絵本を素材にした造形・音楽・動きの総合的表現において、各グループでメンバーのいろいろなアイディアが生かされ、生き生きと発表できたことが、とてもよかったと思いました。 授業では、今後、よりわかりやすい説明や資料提示を心がけていきたいと思います。

氏名	北村 世都						
科目名	老人・障害者の	老人・障害者の心理Ⅱ					
実施日	2019/1/8	配当年次	2				
履修者数	57	回答者数	46				

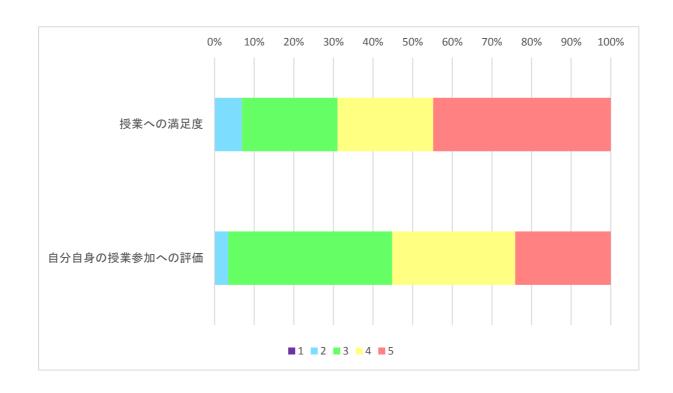
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	2	9	24	11	46
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	12	19	14	46
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	6	25	15	46
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	15	21	10	46
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	14	21	11	46
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	6	29	9	2	46
自分自身の授業参加への評価	1	3	25	13	4	46
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	15	22	4	3	46
授業に積極的に貢献したか	1	12	24	7	2	46
他の学生の授業参加への評価	0	6	25	11	4	46
他の学生から学ぶことが多かったか	3	14	20	6	3	46
私語がなかったか	0	2	15	17	12	46



■担当者のコメント ————————————————————————————————————	

氏名	木下 知威				
科目名	科学的思考XⅢ[手話]				
実施日	2019/1/17	配当年次	1		
履修者数	39	回答者数	29		

		\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	2	7	7	13	29
自分自身の授業参加への評価	0	1	12	9	7	29



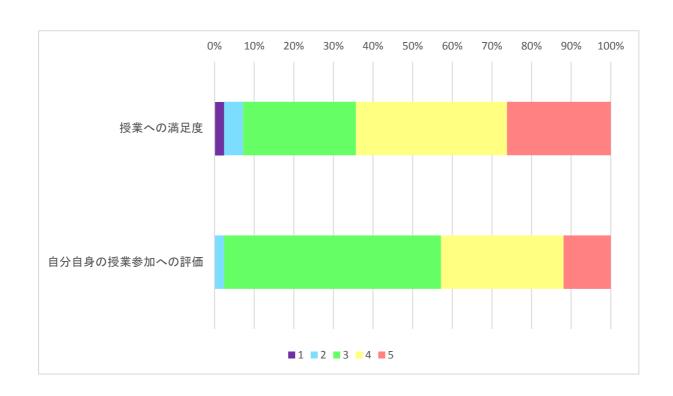
概ね、評価を得られたと考えている。

講義では分かりやすさを目指して重要な箇所は反復するなど丁寧に進行をしていたが、やや遅い、細かいと感じられる意見があった。この点を修正点ととらえ、次年度に反映したい。

また、本講義ではリアクションペーパーの書き方を設定することで、論理的思考を涵養することを目指している。慣れるまでにある程度の時間を要し、指導する時間を取ることができないのが課題だと感じている。次年度ではもう少し方法を提示することで対応したい。また、当初は専用のフォームを使用していたが、受講生人数が多くアクセスしにくい課題が残されたため、次年度はさらにアクセスしやすいフォームに切り替えたい。

氏名	倉田 新				
科目名	問題を抱える子どもへの支援Ⅱ(障害児)♪				
実施日	2018/7/23	配当年次	2		
履修者数	50人	回答者数	42		

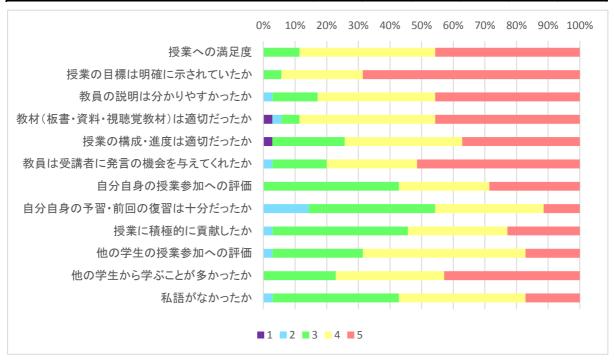
		\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	1	2	12	16	11	42
自分自身の授業参加への評価	0	1	23	13	5	42



概ね好評だと考えられる。今回からは従来のノート提出をやめレポートにしたが、その分、授業中寝ていたり、サボったりする学生もわずかだがいたように思う。よってこれまでになく授業態度に少し厳しい話もしたように思う。また授業の途中で学生からのコメントを受けてこちらも反省する点もあった。私の話の捉え方だが、決して断定的に話しているわけではなく、世の中には多様な考えがあるので、その一つとして参考にしてもらって学習への扉を自ら開いてもらいたいと思うのだが自ら考察することが苦痛である学生もおり、アクティヴラーニング的な授業を進めるにも、受動的で活気にかける場面や今までとは異なる空回りするような雰囲気を感じたのは正直な感想である。しかし教室の半分から前、前列に座り一生懸命学んでいる学生も多くいてそこは何よりもの救いであった。来年度はノート提出か毎回リアクションペーパーを書かせるようにしたいと考えている。2コマあるが後半の学生のアンケートはなかった。後半の学生はさらに積極的だった。

氏名	コール・D		
科目名	英語A20		
実施日	2018/7/17	配当年次	1
履修者数	45人	回答者数	35

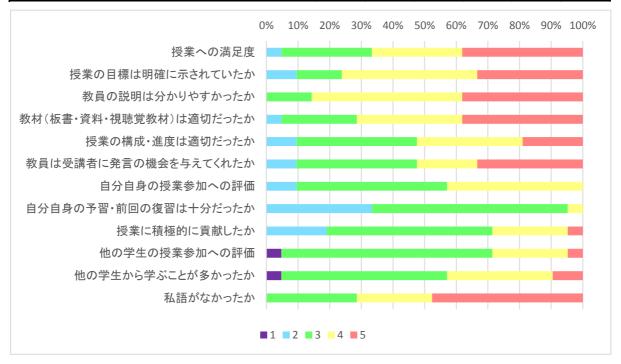
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	4	15	16	35
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	9	24	35
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	5	13	16	35
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	2	15	16	35
授業の構成・進度は適切だったか	1	0	8	13	13	35
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	6	10	18	35
自分自身の授業参加への評価	0	0	15	10	10	35
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	5	14	12	4	35
授業に積極的に貢献したか	0	1	15	11	8	35
他の学生の授業参加への評価	0	1	10	18	6	35
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	8	12	15	35
私語がなかったか	0	1	14	14	6	35



■担当者のコメント		
■1四日400-001		

氏名	興梠 寛				
科目名	青少年と社会教育				
実施日	2018/7/10	配当年次	3		
履修者数	25人	回答者数	21		

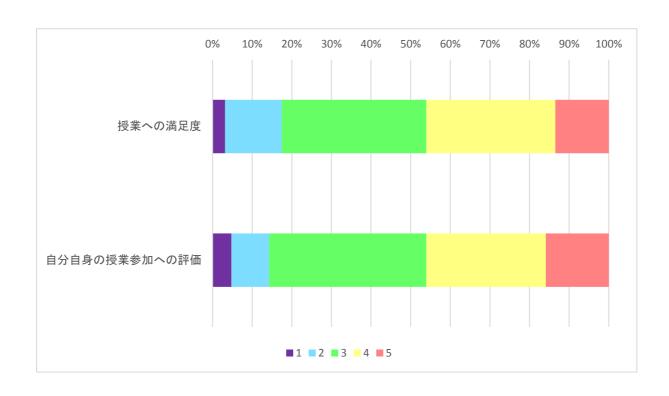
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	6	6	8	21
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	3	9	7	21
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	3	10	8	21
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	5	7	8	21
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	8	7	4	21
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	8	4	7	21
自分自身の授業参加への評価	0	2	10	9	0	21
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	13	1	0	21
授業に積極的に貢献したか	0	4	11	5	1	21
他の学生の授業参加への評価	1	0	14	5	1	21
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	11	7	2	21
私語がなかったか	0	0	6	5	10	21



「青少年と社会教育」について、現在それに関係する学校教育や社会教育政策がめまぐるしく変化しているため、学生たちのなかでは、掌握しづらかったのではないかと危惧している。授業では、できるだけ具体的な地域の実践事例知ってもらおうと努力したが、学生諸君がどれだけ満足してくれたかが心配だ。それにもかかわらず、真摯に授業に取り組んでいただいた皆さんに感謝したい。

氏名	小暮 美樹		
科目名	科学的思考IX		
実施日	2018/6/29	配当年次	1
履修者数	175人	回答者数	126

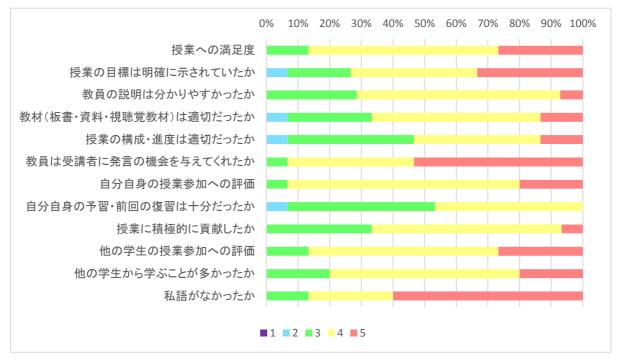
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	口间
授業への満足度	4	18	46	41	17	126
自分自身の授業参加への評価	6	12	50	38	20	126



■担当者のコメント		
I		
1		

氏名	小林 信恵		
科目名	初級日本手話C		
実施日	2018/7/20	配当年次	1
履修者数	18人	回答者数	15

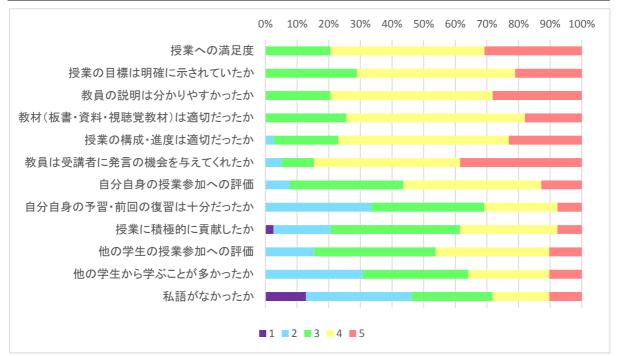
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	2	9	4	15
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	3	6	5	15
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	9	1	14
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	4	8	2	15
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	6	6	2	15
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	6	8	15
自分自身の授業参加への評価	0	0	1	11	3	15
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	1	7	7	0	15
授業に積極的に貢献したか	0	0	5	9	1	15
他の学生の授業参加への評価	0	0	2	9	4	15
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	3	9	3	15
私語がなかったか	0	0	2	4	9	15



学生たちが自分で予習・復習できる環境作りが足りなかった。 また言語だけではなく、文化も合わせて学べる環境作りを考えていきたい。

氏名	小林 秀行		
科目名	社会の認識Ⅷ		
実施日	2018/12/11	配当年次	1
履修者数	87	回答者数	39

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	8	19	12	39
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	11	19	8	38
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	8	20	11	39
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	10	22	7	39
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	8	21	9	39
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	4	18	15	39
自分自身の授業参加への評価	0	3	14	17	5	39
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	13	14	9	3	39
授業に積極的に貢献したか	1	7	16	12	3	39
他の学生の授業参加への評価	0	6	15	14	4	39
他の学生から学ぶことが多かったか	0	12	13	10	4	39
私語がなかったか	5	13	10	7	4	39



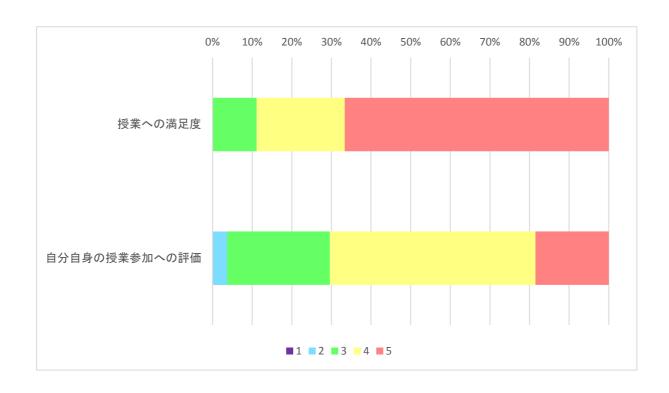
本講義では教養科目の一つとして、クリティカル・シンキングを身につける学習に取り組んだ。方法としては、社会の中の様々な制度や事例を経済学の観点から整理の上で考察した。講義の冒頭では問題点を提示し、経済学の着眼点や理論について説明しながら問題点の整理を行った。そして、いったん整理を行った事柄から、さらなる問題点を抽出する、という繰り返しの思考過程を教室で体験することを通じて、クリティカル・シンキングの陶冶を狙った。

上記の思考過程を教室にて体験するため、あえて予習を前提としなかった。その目的が十分に学生に伝わっていなかったために、予習・復習や積極的な授業参加の項目の結果に表れたと考えられる。

次年度は、思考過程の展開を助けるような復習教材の提供や、教室における思考過程の学生間の共有の時間を設けることによって、より一層教育効果を高めたいと考えている。

氏名	近藤 幹生		
科目名	保育内容総論(個	呆)	
実施日	2018/7/6	配当年次	2
履修者数	40人	回答者数	27

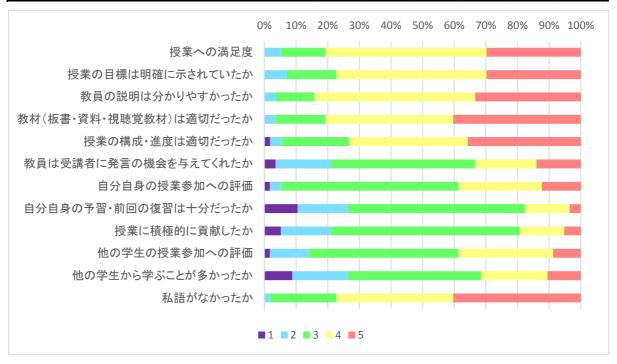
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	3	6	18	27
自分自身の授業参加への評価	0	1	7	14	5	27



■担当者のコメント		
I		
1		

氏名	佐藤 那美		
科目名	保育の心理学 [
実施日	2018/12/10	配当年次	2
履修者数	60	回答者数	57

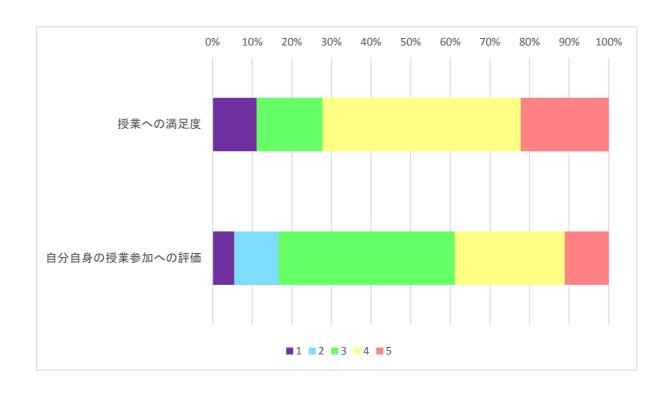
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	3	8	29	17	57
授業の目標は明確に示されていたか	0	4	9	27	17	57
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	7	29	19	57
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	9	23	23	57
授業の構成・進度は適切だったか	1	2	12	21	20	56
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	10	26	11	8	57
自分自身の授業参加への評価	1	2	32	15	7	57
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	6	9	32	8	2	57
授業に積極的に貢献したか	3	9	34	8	3	57
他の学生の授業参加への評価	1	7	27	17	5	57
他の学生から学ぶことが多かったか	5	10	24	12	6	57
私語がなかったか	0	1	12	21	23	57



■担当者のコメント ————————————————————————————————————	

氏名	佐藤 信人		
科目名	ケアマネジ・メント論		
実施日	2019/1/22	配当年次	3
履修者数	34	回答者数	18

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	2	0	3	9	4	18
自分自身の授業参加への評価	1	2	8	5	2	18

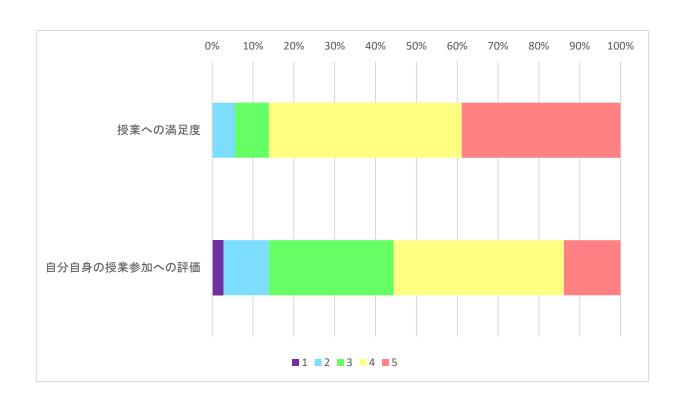


■担当者のコメント ----

さまざま率直なご意見をいただき有り難う御座いました。「教える」ではなく「学んでもらう」ことを意識して、一方的な講義でない参加型の授業を目指しました。しかし、学生さんに意見を求めて学ぶ活動性を高める手法には賛否が分かれたようです。内省して、柔軟で関心が高まり積極的な学びにつながる授業を目指します。

氏名	佐藤 美由紀		
科目名	障害児保育Ⅱ(保	:)	
実施日	2018/11/29	配当年次	2
履修者数	39	回答者数	36

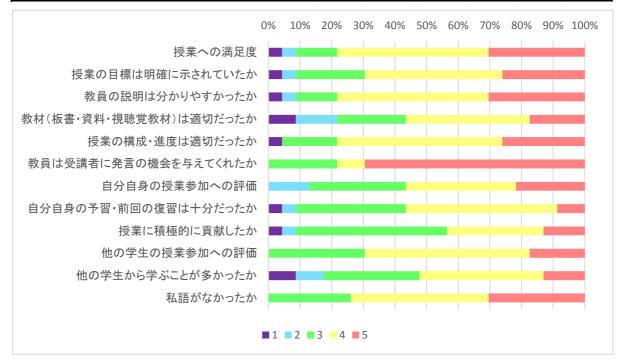
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	「日日
授業への満足度	0	2	3	17	14	36
自分自身の授業参加への評価	1	4	11	15	5	36



今年度の授業評価アンケートは、ほぼ全員に近い学生の提出がありましたが、週末の木曜日に1時限目から授業を受けている学生にとって、5・6限目特に5限目は疲労がピークに達し集中力に欠けてしまうとの意見が多くありました。選択科目の多い学生のカリキュラム作成については、大学側もかなり苦労していることと思います。担当教員としても、学生達の疲れた表情を見ると何とかならないものかと思いますが、障害のあるなしに関わらず子どもの育ちや支援に興味を持ち、将来児童福祉に関係した職業に就きたいとの思いで選択した以上、しっかり勉強して欲しいと願います。障害児保育の分野で働いてきた先輩として学生にアドバイスしたいことは、児童福祉分野の仕事は、特に体力勝負の仕事であるということです。学業と並行して体を使って子どもと一緒に遊ぶことのできる体力作りにも、学生のうちから励んで欲しいと思います。

氏名	澁川 顕一		
科目名	英語B24		
実施日	2018/7/10	配当年次	1
履修者数	32人	回答者数	23

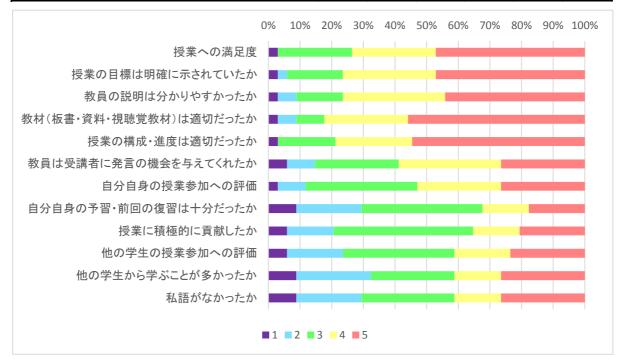
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	1	1	3	11	7	23
授業の目標は明確に示されていたか	1	1	5	10	6	23
教員の説明は分かりやすかったか	1	1	3	11	7	23
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	3	5	9	4	23
授業の構成・進度は適切だったか	1	0	4	12	6	23
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	5	2	16	23
自分自身の授業参加への評価	0	3	7	8	5	23
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	8	11	2	23
授業に積極的に貢献したか	1	1	11	7	3	23
他の学生の授業参加への評価	0	0	7	12	4	23
他の学生から学ぶことが多かったか	2	2	7	9	3	23
私語がなかったか	0	0	6	10	7	23



語学の授業においては全ての学生に発言や解答の機会を偏りなく与えるのが基本であるので、学生はそれを承知し、自ら参加して達成感を得ている学生も多数いる。一方で、自らの予習不足を反省する真摯な学生もアンケートから伺え、発言機会の効果は何らかの刺激になっているものと思われる。実際に授業を行って気になるのは、授業を最後まで食らいついてこれず、期末試験を受けても通らないからという理由で途中で諦めてしまう学生が今回も複数名いたことである。本来は学生自身の問題ではあるものの、こちらとしても学生をよく観察し、激励したり各人に合った指導をしたりするよう心掛けたい。

氏名	澁谷 壮紀		
科目名	情報科学A2		
実施日	2018/7/9	配当年次	1
履修者数	43人	回答者数	34

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	1	0	8	9	16	34
授業の目標は明確に示されていたか	1	1	6	10	16	34
教員の説明は分かりやすかったか	1	2	5	11	15	34
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	2	3	9	19	34
授業の構成・進度は適切だったか	1	0	6	8	18	33
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	3	9	11	9	34
自分自身の授業参加への評価	1	3	12	9	9	34
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	7	13	5	6	34
授業に積極的に貢献したか	2	5	15	5	7	34
他の学生の授業参加への評価	2	6	12	6	8	34
他の学生から学ぶことが多かったか	3	8	9	5	9	34
私語がなかったか	3	7	10	5	9	34

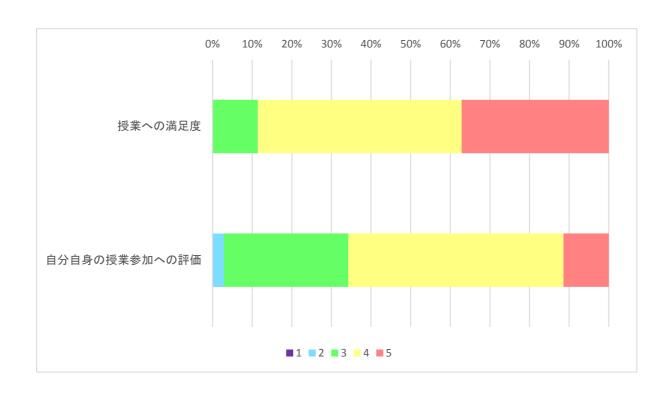


■担当者のコメント・

比較的、満足度が高い評価となっていましたが、一方で学生の皆さんが講義内での発言などを含めた参加や予習・復習などが学生の皆さんも比較的できなかったと評価している点は、担当者としても改善すべきこととして認識しています。実習を伴う講義であったにも関わらず、説明を聞くだけで満足し、実習に取り組めなかった学生さんも散見されたので、今後は講義内の学生とのコミュニケーションを取るとともに、より自分自身でスキルを身につけられるように講義内課題、予習・復習の仕方を提示するなどを工夫をしていきたいと思います。

氏名	菅谷 美佳子		
科目名	英語B15		
実施日	2018/6/11	配当年次	1
履修者数	44人	回答者数	35

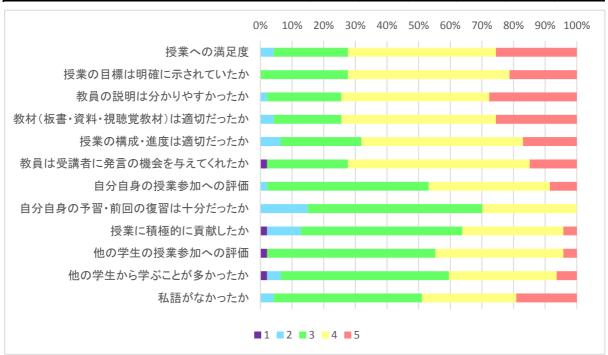
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	4	18	13	35
自分自身の授業参加への評価	0	1	11	19	4	35



■担当者のコメント・			
1			

氏名	杉野 聖子		
科目名	生涯学習論 I		
実施日	2018/7/13	配当年次	2
履修者数	52人	回答者数	47

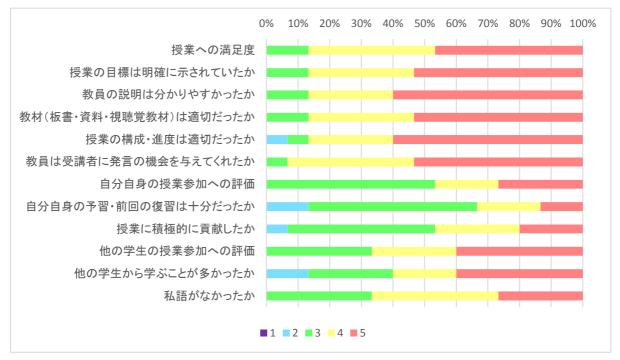
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	2	11	22	12	47
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	13	24	10	47
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	11	22	13	47
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	10	23	12	47
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	12	24	8	47
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	0	12	27	7	47
自分自身の授業参加への評価	0	1	24	18	4	47
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	26	14	0	47
授業に積極的に貢献したか	1	5	24	15	2	47
他の学生の授業参加への評価	1	0	25	19	2	47
他の学生から学ぶことが多かったか	1	2	25	16	3	47
私語がなかったか	0	2	22	14	9	47





氏名	鈴木 真智子				
科目名	介護概論Ⅲ(教)	介護概論Ⅲ(教)			
実施日	2018/7/5	配当年次	3		
履修者数	20人	回答者数	15		

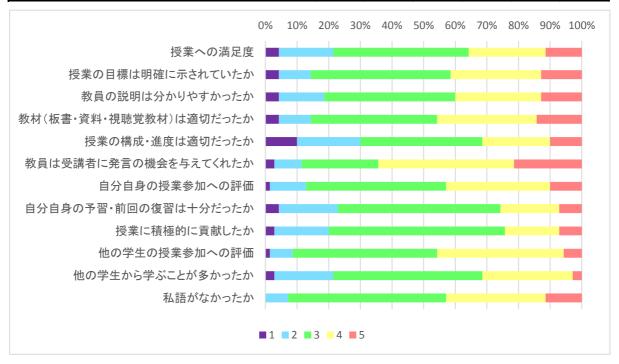
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	2	6	7	15
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	5	8	15
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	4	9	15
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	5	8	15
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	1	4	9	15
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	6	8	15
自分自身の授業参加への評価	0	0	8	3	4	15
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	8	3	2	15
授業に積極的に貢献したか	0	1	7	4	3	15
他の学生の授業参加への評価	0	0	5	4	6	15
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	4	3	6	15
私語がなかったか	0	0	5	6	4	15



毎回の授業はテーマがある。一回一回の授業の積み重ねを学生自身が感じにくかったのではと思う。学生の予習や復習につながる課題やテーマの投げかけを今後は、工夫していく。

氏名	徐 凡喜				
科目名	社会の認識X	社会の認識X			
実施日	2018/7/25	配当年次	1		
履修者数	94人	回答者数	70		

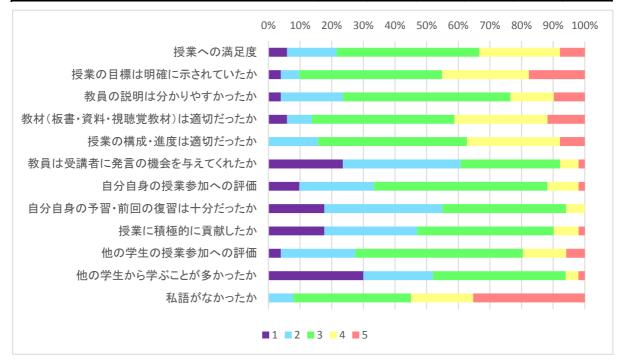
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	口目
授業への満足度	3	12	30	17	8	70
授業の目標は明確に示されていたか	3	7	31	20	9	70
教員の説明は分かりやすかったか	3	10	29	19	9	70
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	3	7	28	22	10	70
授業の構成・進度は適切だったか	7	14	27	15	7	70
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	6	17	30	15	70
自分自身の授業参加への評価	1	8	31	23	7	70
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	13	36	13	5	70
授業に積極的に貢献したか	2	12	39	12	5	70
他の学生の授業参加への評価	1	5	32	28	4	70
他の学生から学ぶことが多かったか	2	13	33	20	2	70
私語がなかったか	0	5	35	22	8	70



■担当者のコメント				
■1四日400-001				

氏名	鷹野 吉章					
科目名	福祉と経営(経済	福祉と経営(経済)				
実施日	2018/7/3	配当年次	2			
履修者数	69人	回答者数	51			

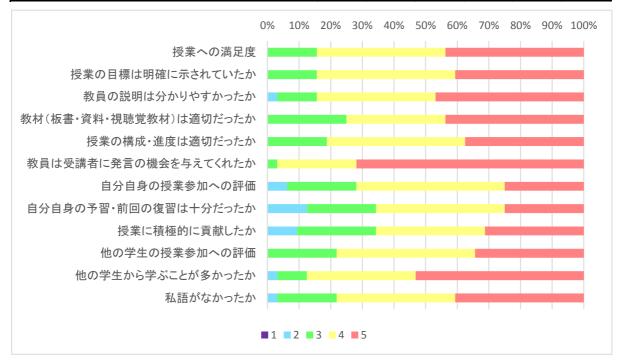
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	3	8	23	13	4	51
授業の目標は明確に示されていたか	2	3	23	14	9	51
教員の説明は分かりやすかったか	2	10	27	7	5	51
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	3	4	23	15	6	51
授業の構成・進度は適切だったか	0	8	24	15	4	51
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	12	19	16	3	1	51
自分自身の授業参加への評価	5	12	28	5	1	51
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	9	19	20	3	0	51
授業に積極的に貢献したか	9	15	22	4	1	51
他の学生の授業参加への評価	2	12	27	7	3	51
他の学生から学ぶことが多かったか	15	11	21	2	1	50
私語がなかったか	0	4	19	10	18	51



今年度この授業では、従来行っていたレポートに対して個別評価を付して返却することができませんでした。また、必要に応じて、受講生のリアクションペーパーから主な意見を抜粋し、コメントを付したり、質問に応答するペーパーを作成しフィードバックもあまりできませんでした。また、授業の中で、受講生が発言したり、議論したりする時間をあまり持てなかったことも反省点です。この結果、「授業の満足度」を4以上に評価した人の割合は昨年は62%でしたが、今年度は大幅に減少し約33%となったものと思われます。これらの点について今後改善すべき課題と考え、取組に反映していきたいと考えます。

氏名	高橋 貴志			
科目名	保育内容演習 I (環境)			
実施日	2019/1/8	配当年次	3	
履修者数	33	回答者数	32	

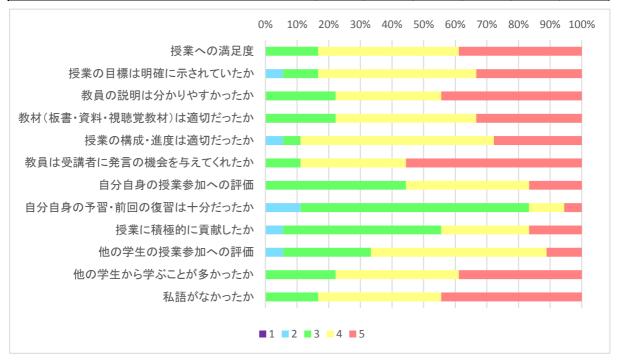
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	5	13	14	32
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	5	14	13	32
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	4	12	15	32
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	8	10	14	32
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	6	14	12	32
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	8	23	32
自分自身の授業参加への評価	0	2	7	15	8	32
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	4	7	13	8	32
授業に積極的に貢献したか	0	3	8	11	10	32
他の学生の授業参加への評価	0	0	7	14	11	32
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	3	11	17	32
私語がなかったか	0	1	6	12	13	32



「演習」形式の授業であることを考えると、「自分自身の授業参加への評価」「自分自身の予習・前回の復習は十分だったか」等の主体的な授業参加にかかわる内容について、「3」以下をつけている学生が少なくない点が今後の授業運営における自己課題であると認識している。また、「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」という点について、7割程度の学生が高い評価をつけていた点は、レポート発表の際の質疑応答、教員との討議の時間を積極的に設けたことが奏功したのではないかと考えている。今後も継続していきたい。

氏名	瀧本 里香			
科目名	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ			
実施日	2018/7/19	配当年次	3	
履修者数	24人	回答者数	18	

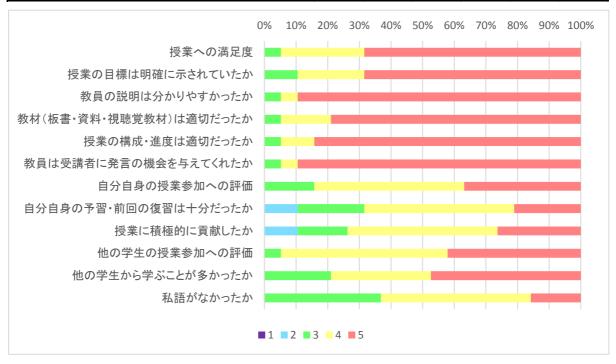
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	3	8	7	18
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	2	9	6	18
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	6	8	18
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	8	6	18
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	1	11	5	18
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	6	10	18
自分自身の授業参加への評価	0	0	8	7	3	18
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	13	2	1	18
授業に積極的に貢献したか	0	1	9	5	3	18
他の学生の授業参加への評価	0	1	5	10	2	18
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	4	7	7	18
私語がなかったか	0	0	3	7	8	18



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	立花 明彦			
科目名	形態別介護技演Ⅱ(介)			
実施日	2018/11/19	配当年次	2	
履修者数	21	回答者数	19	

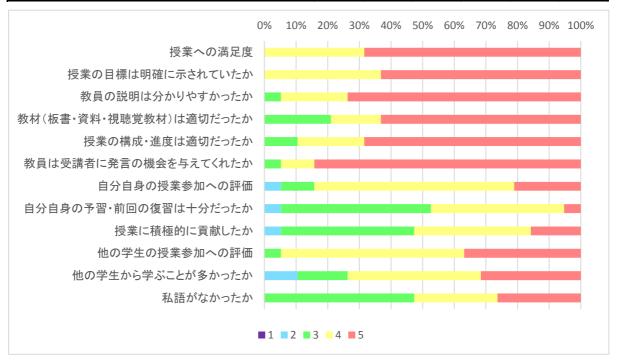
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	1	5	13	19
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	4	13	19
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	1	17	19
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	3	15	19
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	2	16	19
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	1	17	19
自分自身の授業参加への評価	0	0	3	9	7	19
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	4	9	4	19
授業に積極的に貢献したか	0	2	3	9	5	19
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	10	8	19
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	4	6	9	19
私語がなかったか	0	0	7	9	3	19



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	谷 千春			
科目名	形態別介護技術演習 I (介)			
実施日	2018/7/25	配当年次	2	
履修者数	21人	回答者数	19	

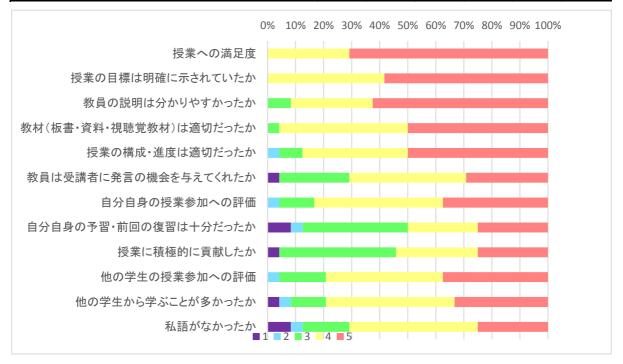
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	0	6	13	19
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	7	12	19
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	4	14	19
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	3	12	19
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	4	13	19
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	2	16	19
自分自身の授業参加への評価	0	1	2	12	4	19
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	1	9	8	1	19
授業に積極的に貢献したか	0	1	8	7	3	19
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	11	7	19
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	3	8	6	19
私語がなかったか	0	0	9	5	5	19



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	堤 ちはる			
科目名	子どもの食と栄(保)			
実施日	2018/12/21	配当年次	2	
履修者数	39	回答者数	24	

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	口面
授業への満足度	0	0	0	7	17	24
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	10	14	24
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	7	15	24
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	11	12	24
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	2	9	12	24
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	0	6	10	7	24
自分自身の授業参加への評価	0	1	3	11	9	24
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	1	9	6	6	24
授業に積極的に貢献したか	1	0	10	7	6	24
他の学生の授業参加への評価	0	1	4	10	9	24
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	3	11	8	24
私語がなかったか	2	1	4	11	6	24

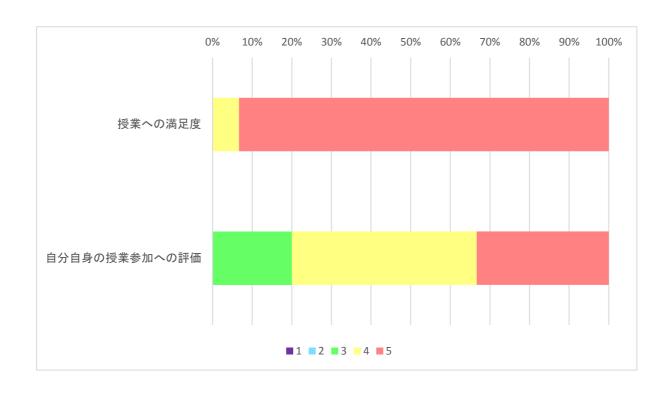


本授業では、子どもの食生活と栄養について、学生がイメージしやすいように日常の食事内容から栄養バランスの理解を深めたり、保育園児の保護者からの食の悩み相談に、保育士としてどのように答えるかを考えたりと、具体例を豊富にあげながら講義を進めていった。また、リアクションペーパーに記載された質問に、毎回丁寧に答えながら授業を深めていったことなどから「授業への満足度」、「授業の目的の明確さ」は、4と5の合計が100%と高い評価であった。

一方、「学生自身の授業参加」や「授業への積極的な貢献」、「他の学生からの学び」などの項目は、改善の余地があった。そこで、今後はグループワークやディスカッションなどを積極的に取り入れながら、参加型の授業展開となるようにさらなる工夫を続けていきたい。

氏名	戸田 康之				
科目名	聴覚障害教育(特	聴覚障害教育(特)			
実施日	2018/7/7	配当年次	3		
履修者数	15人	回答者数	15		

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	0	1	14	15
自分自身の授業参加への評価	0	0	3	7	5	15

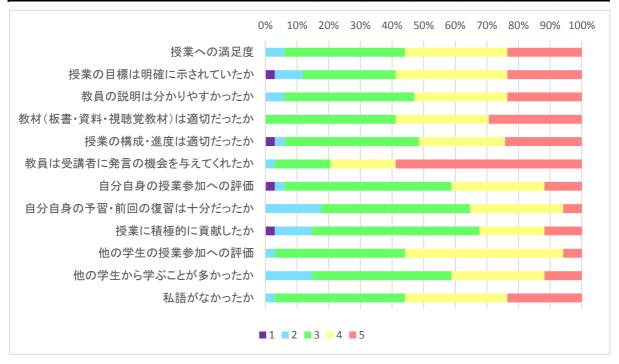


■担当者のコメント ----

学生たちは、意欲的に授業に取り組み、それぞれ自分の考えをもって、様々な意見を出してもらえたので、 こちらも学ぶことが多かった。

氏名	トマール, ヴァルン			
科目名	英語A14			
実施日	2018/6/12	配当年次	1	
履修者数	43人	回答者数	34	

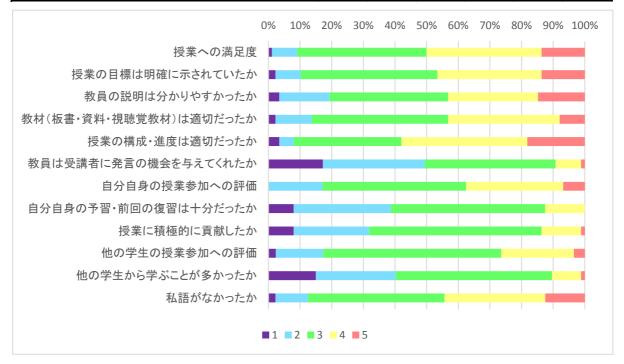
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	2	13	11	8	34
授業の目標は明確に示されていたか	1	3	10	12	8	34
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	14	10	8	34
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	14	10	10	34
授業の構成・進度は適切だったか	1	1	14	9	8	33
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	6	7	20	34
自分自身の授業参加への評価	1	1	18	10	4	34
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	6	16	10	2	34
授業に積極的に貢献したか	1	4	18	7	4	34
他の学生の授業参加への評価	0	1	14	17	2	34
他の学生から学ぶことが多かったか	0	5	15	10	4	34
私語がなかったか	0	1	14	11	8	34



_	担当者のコメント			
ī				

氏名	富塚 祥夫			
科目名	福祉と法(行政法)			
実施日	2018/7/5	配当年次	2	
履修者数	109人	回答者数	88	

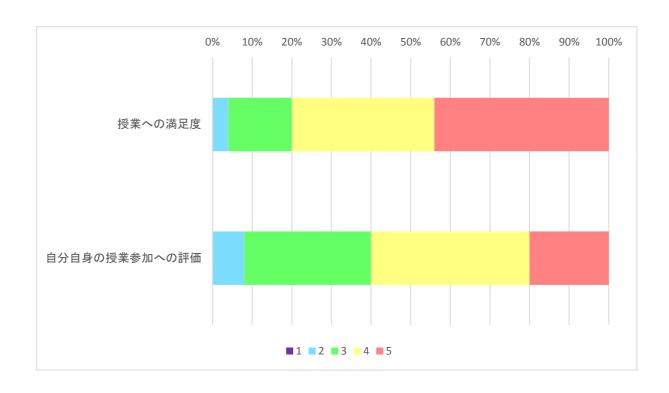
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	1	7	36	32	12	88
授業の目標は明確に示されていたか	2	7	38	29	12	88
教員の説明は分かりやすかったか	3	14	33	25	13	88
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	10	38	31	7	88
授業の構成・進度は適切だったか	3	4	30	35	16	88
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	15	28	36	7	1	87
自分自身の授業参加への評価	0	15	40	27	6	88
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	7	27	43	11	0	88
授業に積極的に貢献したか	7	21	48	11	1	88
他の学生の授業参加への評価	2	13	49	20	3	87
他の学生から学ぶことが多かったか	13	22	43	8	1	87
私語がなかったか	2	9	38	28	11	88



アンケート結果を見ると、授業への満足度、授業目標、教員の説明、教材の適切性、授業の構成・進度、 私語については普通以上の評価が多かった一方、受講者の発言の機会、予習・復習、授業への貢献、学 生どうしの学びなどについては普通以下の評価が多かったことがわかります。受講者の発言の機会、授業 への貢献、学生どうしの学びについて相対的に低い評価になったのは、授業が講義形式である以上致し 方のない面があるといわざるをえません。ただし、予習・復習については、講義形式とは関係のない問題で すので、予習・復習を促す工夫をもう少し考えていきたいと思います。

氏名	中村 考一		
科目名	認知症ケア論 I		
実施日	2018/6/22	配当年次	3
履修者数	27人	回答者数	25

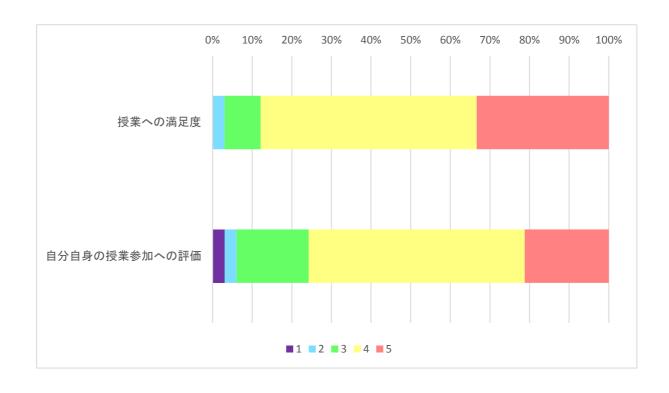
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	4	9	11	25
自分自身の授業参加への評価	0	2	8	10	5	25



■担当者のコメント		
1		

氏名	西 智子		
科目名	乳児保育(保)		
実施日	2018/7/23	配当年次	3
履修者数	34人	回答者数	33

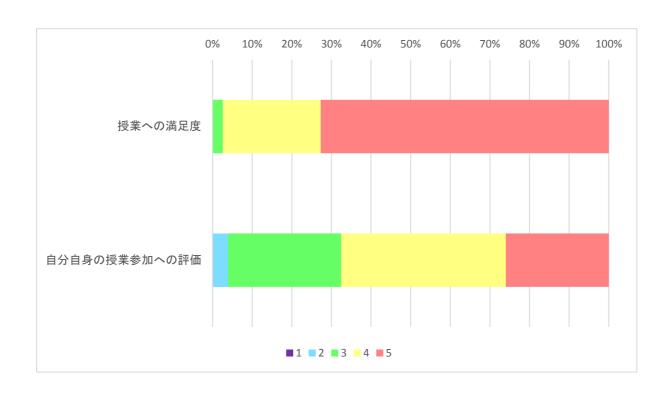
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	3	18	11	33
自分自身の授業参加への評価	1	1	6	18	7	33



■相当者のコメント		
1		

氏名	西隈 亜紀				
科目名	精神保健福祉論 I				
実施日	2018/7/20	配当年次	2		
履修者数	92人	回答者数	78		

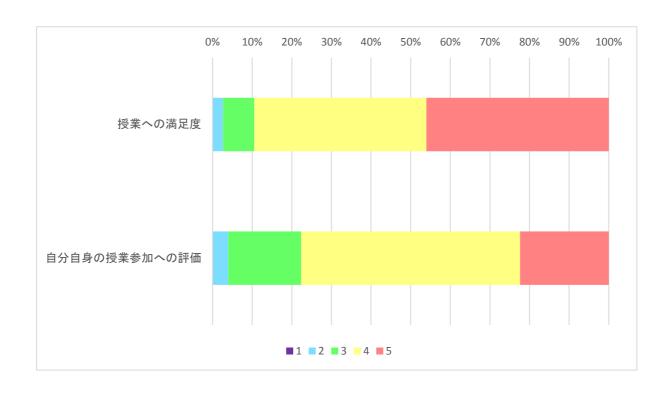
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	2	19	56	77
自分自身の授業参加への評価	0	3	22	32	20	77



毎回必ず定刻に授業を開始しボリュームのある内容を伝えていて、学生さんにとっては厳しい講義だと思っているので、満足度が高く出たのは、それだけ意欲の高い学生さんたちだったということでしょう。毎回のリアクションペーパーにびっしりと意見などを書いてもらうことができ、教えていて私自身も非常にやり甲斐を感じ、大いに刺激を受けました。「学生自身の授業参加への評価」も高い結果になっていることをうれしく思います。私の臨床現場での経験を話すことが、学生さんにとっては良い刺激になっていること、毎回の授業冒頭でリアペの振り返りをコメントすることで、質問内容や意見・感想を共有していることが良かったというアンケート結果をいただいたので、来年度も続けていこうと思っております。心の問題に無関係の人などおりません。ともに学んでまいりましょう。

氏名	西本 和月			
科目名	人間の知性XⅡ			
実施日	2019/1/11	配当年次	1	
履修者数	86	回答者数	77	

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	2	6	33	35	76
自分自身の授業参加への評価	0	3	14	42	17	76

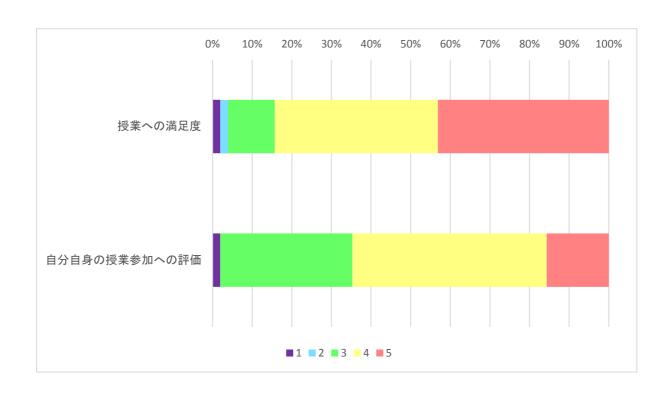


■担当者のコメント ----

自由記述部分から、配布資料の穴埋めがあることと、学生が参加する検査や実験があったことが高評価のようだった、3限という時間帯と室温の高さからから、学生は眠気と戦っているようなので、さらに覚醒を上げていける内容を目指したい。また、授業の進行が早い、話すスピードが早いという指摘も幾人かから上がっているため、進行速度に注意したい。

氏名	橋本 恭子		
科目名	初級中国語A2		
実施日	2018/7/24	配当年次	1
履修者数	50人	回答者数	51

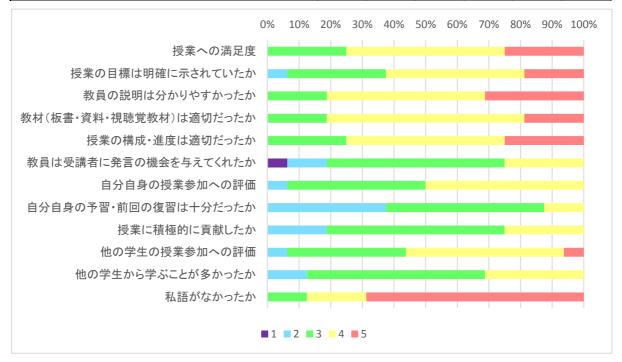
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	1	1	6	21	22	51
自分自身の授業参加への評価	1	0	17	25	8	51



■相当者のコメント		
1		

氏名	原田 美江子•坂	変野 晶司・荒	井 和子
科目名	公衆衛生 I		
実施日	2018/7/7	配当年次	2
履修者数	27人	回答者数	16

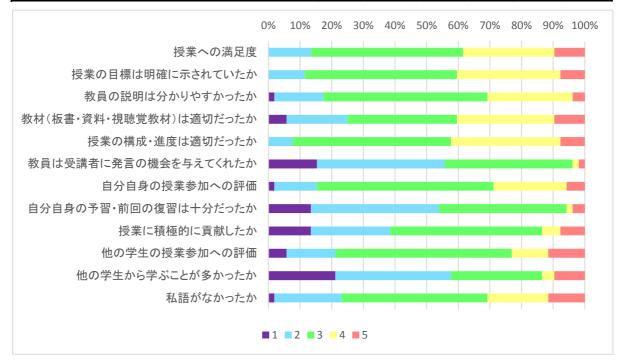
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	口面
授業への満足度	0	0	4	8	4	16
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	5	7	3	16
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	3	8	5	16
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	10	3	16
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	4	8	4	16
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	2	9	4	0	16
自分自身の授業参加への評価	0	1	7	8	0	16
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	6	8	2	0	16
授業に積極的に貢献したか	0	3	9	4	0	16
他の学生の授業参加への評価	0	1	6	8	1	16
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	9	5	0	16
私語がなかったか	0	0	2	3	11	16



講義自体はわかりやすいという評価のようでよかったと思います。もう少し受講者参加型にもっていければよいのですが、なかなかうまくできません。 原田

氏名	東 恭一郎		
科目名	科学的思考Ⅷ		
実施日	2018/12/19	配当年次	1
履修者数	114	回答者数	52

	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	7	25	15	5	52
授業の目標は明確に示されていたか	0	6	25	17	4	52
教員の説明は分かりやすかったか	1	8	27	14	2	52
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	3	10	18	16	5	52
授業の構成・進度は適切だったか	0	4	26	18	4	52
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	8	21	21	1	1	52
自分自身の授業参加への評価	1	7	29	12	3	52
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	7	21	21	1	2	52
授業に積極的に貢献したか	7	13	25	3	4	52
他の学生の授業参加への評価	3	8	29	6	6	52
他の学生から学ぶことが多かったか	11	19	15	2	5	52
私語がなかったか	1	11	24	10	6	52



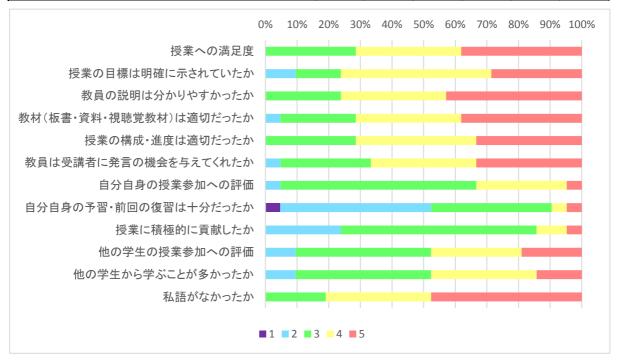
■担当者のコメント・

「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」:発言の機会を与えなかったと思います。数回のアンケートで皆さんの基礎知識や講義理解度を聴取し、適切に講義内容に反映させることができました。 「授業に積極的に貢献したか」:上の設問と関連するのですが、皆さんが思っている以上に積極的に貢献していると思います。

「最初の5つの質問」:満足度、目標、進度は、比較的高評価のように思えますが(他の評価を知らないので判りませんが)、その割には、皆さんの試験成績が酷いなと感じます。すべて、講義ノートを見れば分かることだけですので、試験勉強もやっておいてください。

氏名	久永 文恵・二宮	・史織				
科目名	精神科リハビリテージ	精神科リハビリテーション				
実施日	2019/1/24	配当年次	3			
履修者数	31	回答者数	21			

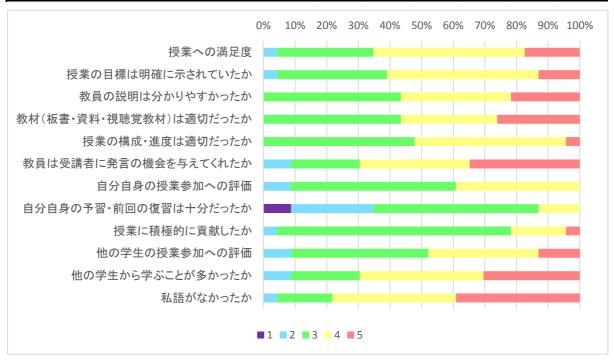
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	6	7	8	21
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	3	10	6	21
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	5	7	9	21
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	5	7	8	21
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	6	8	7	21
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	6	7	7	21
自分自身の授業参加への評価	0	1	13	6	1	21
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	10	8	1	1	21
授業に積極的に貢献したか	0	5	13	2	1	21
他の学生の授業参加への評価	0	2	9	6	4	21
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	9	7	3	21
私語がなかったか	0	0	4	7	10	21



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	廣瀬 圭子					
科目名	リハヒリテーション論】	リハビリテーション論 Ⅱ(介)				
実施日	2018/6/11	配当年次	3			
履修者数	25人	回答者数	23			

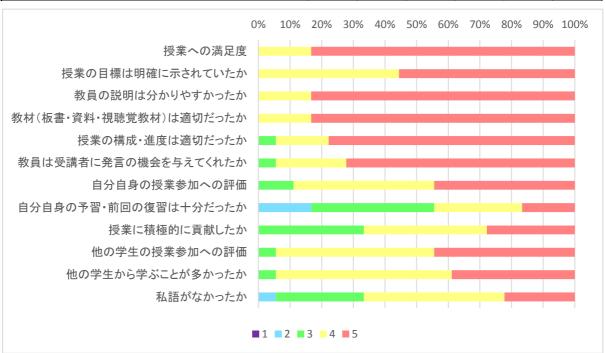
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	1	7	11	4	23
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	8	11	3	23
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	10	8	5	23
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	10	7	6	23
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	11	11	1	23
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	5	8	8	23
自分自身の授業参加への評価	0	2	12	9	0	23
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	6	12	3	0	23
授業に積極的に貢献したか	0	1	17	4	1	23
他の学生の授業参加への評価	0	2	10	8	3	23
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	5	9	7	23
私語がなかったか	0	1	4	9	9	23



■担当者のコメント		
■1四日400-001		

氏名	福光 あずさ		
科目名	初級日本手話A		
実施日	2018/7/2	配当年次	1
履修者数	18人	回答者数	18

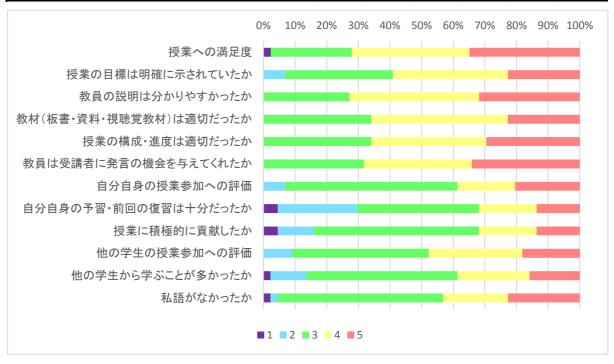
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	百亩
授業への満足度	0	0	0	3	15	18
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	8	10	18
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	3	15	18
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	0	3	15	18
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	3	14	18
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	4	13	18
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	8	8	18
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	3	7	5	3	18
授業に積極的に貢献したか	0	0	6	7	5	18
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	9	8	18
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	10	7	18
私語がなかったか	0	1	5	8	4	18



ı	■担当者のコメント			
1	■ 1三当名の ・ フマー			

氏名	藤井 恭子		
科目名	初級フランス語	A	
実施日	2018/7/9	配当年次	1
履修者数	48人	回答者数	44

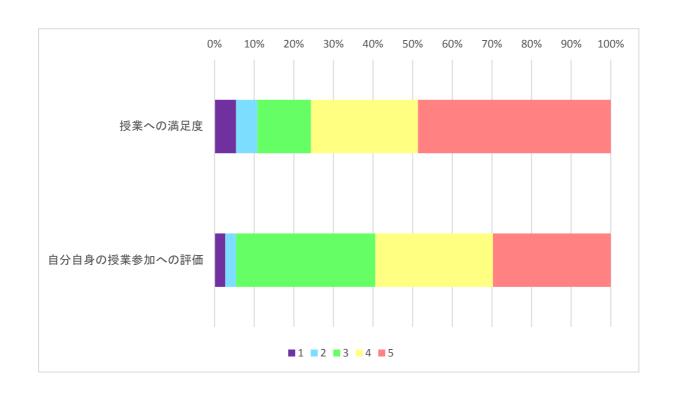
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	1	0	11	16	15	43
授業の目標は明確に示されていたか	0	3	15	16	10	44
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	12	18	14	44
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	15	19	10	44
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	15	16	13	44
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	14	15	15	44
自分自身の授業参加への評価	0	3	24	8	9	44
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	11	17	8	6	44
授業に積極的に貢献したか	2	5	23	8	6	44
他の学生の授業参加への評価	0	4	19	13	8	44
他の学生から学ぶことが多かったか	1	5	21	10	7	44
私語がなかったか	1	1	23	9	10	44



■担当者のコメント		
■1四日400-001		

氏名	ベ・エリー		
科目名	英語A18		
実施日	2018/7/10	配当年次	1
履修者数	45人	回答者数	37

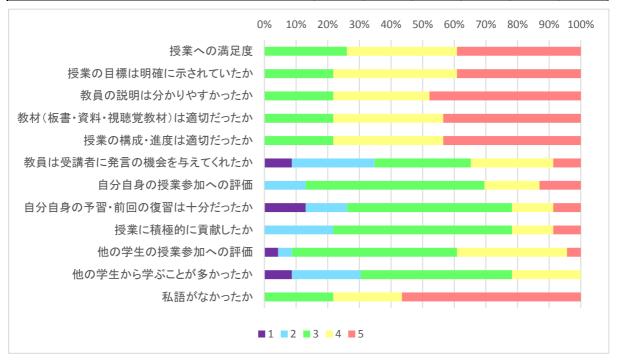
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	2	2	5	10	18	37
自分自身の授業参加への評価	1	1	13	11	11	37





氏名	細山 俊男		
科目名	社会教育計画 I		
実施日	2018/7/14	配当年次	3
履修者数	26人	回答者数	23

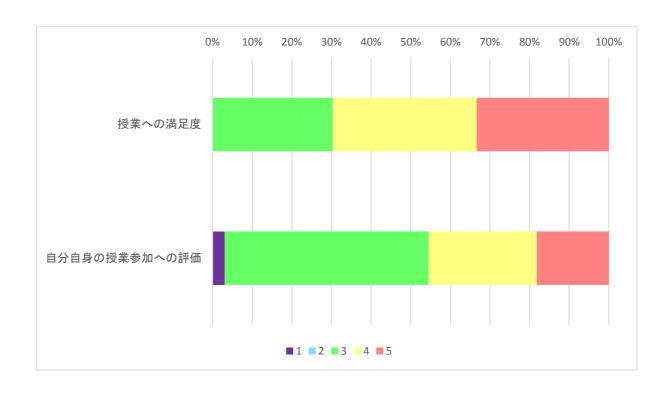
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	6	8	9	23
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	5	9	9	23
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	5	7	11	23
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	5	8	10	23
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	5	8	10	23
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	6	7	6	2	23
自分自身の授業参加への評価	0	3	13	4	3	23
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	3	12	3	2	23
授業に積極的に貢献したか	0	5	13	3	2	23
他の学生の授業参加への評価	1	1	12	8	1	23
他の学生から学ぶことが多かったか	2	5	11	5	0	23
私語がなかったか	0	0	5	5	13	23



■担当者のコメント		

氏名	堀 千鶴子		
科目名	女性福祉論		
実施日	2018/6/25	配当年次	3
履修者数	43人	回答者数	33

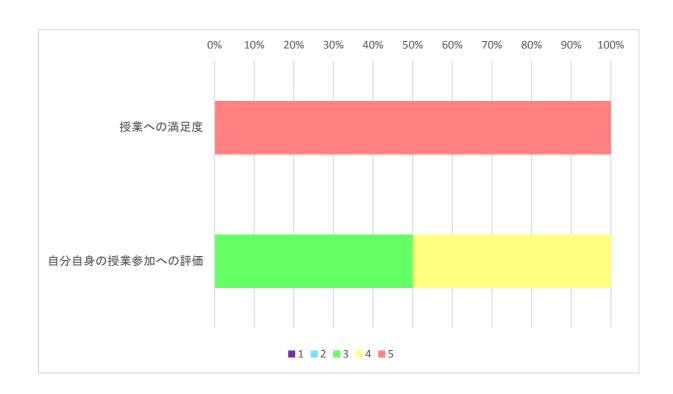
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	10	12	11	33
自分自身の授業参加への評価	1	0	17	9	6	33



■担当者のコメント		
1		

氏名	原田 美江子・本	、保 善樹・荒	井 和子
科目名	公衆衛生Ⅱ		
実施日	2019/1/19	配当年次	2
履修者数	6	回答者数	2

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	0	0	2	2
自分自身の授業参加への評価	0	0	1	1	0	2

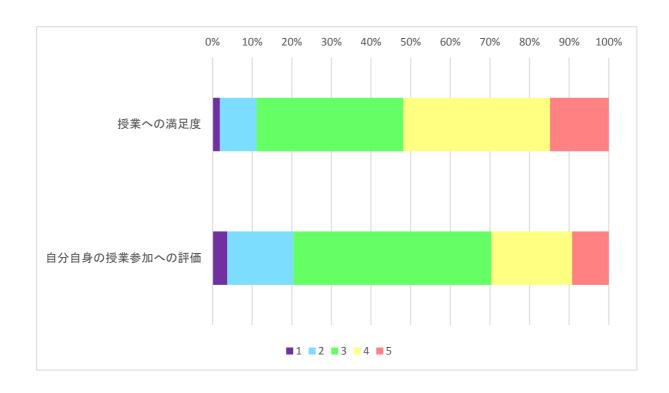


■担当者のコメント ——

ほとんどマンツーマンの授業でしたので、反応もよくわかり丁寧に講義ができたと思います。 原田 将来福祉系の仕事に就くにあたり、最低限知っておいてほしいことをまとめて講義内容としました。受講生 が少なかったこともあり、時間的に余裕をもって双方向の講義を心がけました。将来何かの折に思い出して もらうことで、自身の仕事の幅が広がり利用者の益につながることを願います。 荒井 公衆衛生の定義・特徴、我が国の精神保健の現状と課題、世界の先駆的取組について映像を多く使い、 また当事者の方の語りも加えお伝えしました。関心を持ち続け、理解を深めて頂ければ幸いです。 本保

氏名	牧野 篤			
科目名	高齢社教論(社教課Ⅱ)			
実施日	2019/1/7	配当年次	3	
履修者数	64	回答者数	54	

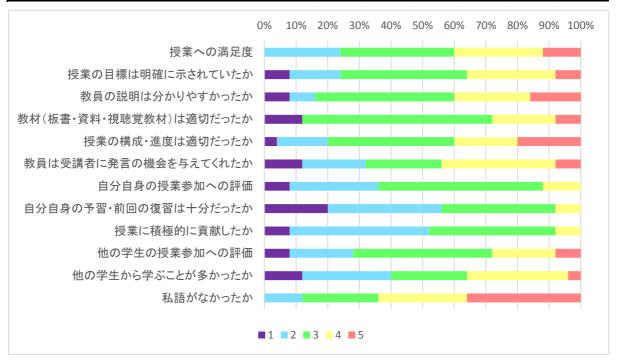
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	百百日
授業への満足度	1	5	20	20	8	54
自分自身の授業参加への評価	2	9	27	11	5	54



できるだけ議論して欲しいと思い、グループワークを多用したが、議論になれておらず、発言も控えめであり、今後の授業展開を考える必要を痛感した。「うけたまわる」ことになれていて、自ら積極的に発言し、探求することに慣れていない、または面倒くささを感じているような印象がある。そのことが現れているようなアンケートの結果だと受け止めている。しかし、反面で、この点にかかわっては、これからの社会福祉を担う学生としては、事象を批判的にとらえ、自ら考えて、探求し、また行動するように努めて欲しい。とても素直な学生が多いとの印象だが、社会に出て、仕事をするうえで、それが必ずしもよいことであるとは限らないことも、受け止めておいて欲しい。とくに、社会的な弱者の立場に立つことが求められる学生の皆さんには、物事を多面的にとらえる訓練をして欲しい。

氏名	松島 栄一			
科目名	形態別介護技術演習Ⅲ(介)			
実施日	2018/7/3	配当年次	3	
履修者数	25人	回答者数	25	

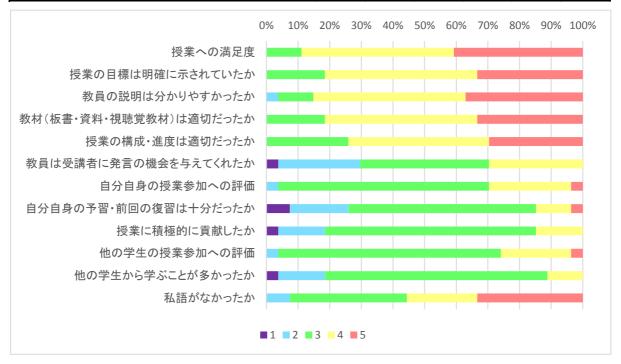
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	6	9	7	3	25
授業の目標は明確に示されていたか	2	4	10	7	2	25
教員の説明は分かりやすかったか	2	2	11	6	4	25
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	3	0	15	5	2	25
授業の構成・進度は適切だったか	1	4	10	5	5	25
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	5	6	9	2	25
自分自身の授業参加への評価	2	7	13	3	0	25
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	9	9	2	0	25
授業に積極的に貢献したか	2	11	10	2	0	25
他の学生の授業参加への評価	2	5	11	5	2	25
他の学生から学ぶことが多かったか	3	7	6	8	1	25
私語がなかったか	0	3	6	7	9	25



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	松山 毅			
科目名	福祉と政策(歴史)			
実施日	2018/7/9	配当年次	3	
履修者数	44人	回答者数	27	

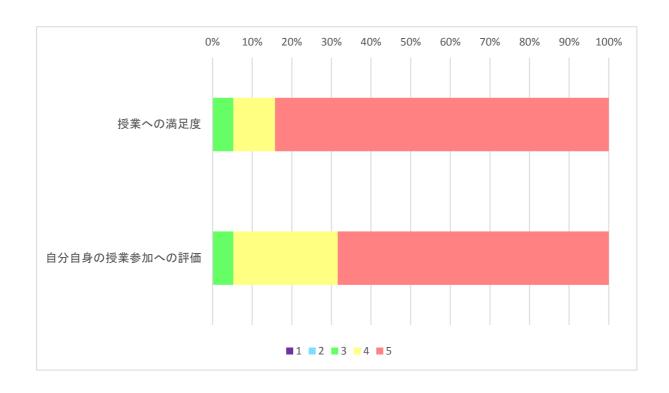
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	3	13	11	27
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	5	13	9	27
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	3	13	10	27
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	5	13	9	27
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	7	12	8	27
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	7	11	8	0	27
自分自身の授業参加への評価	0	1	18	7	1	27
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	5	16	3	1	27
授業に積極的に貢献したか	1	4	18	4	0	27
他の学生の授業参加への評価	0	1	19	6	1	27
他の学生から学ぶことが多かったか	1	4	19	3	0	27
私語がなかったか	0	2	10	6	9	27



■担当者のコメント ————————————————————————————————————	

氏名	三浦 一朗			
科目名	レクリエーション活動援助法 I (介)			
実施日	2018/7/2	配当年次	2	
履修者数	21人	回答者数	19	

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	1	2	16	19
自分自身の授業参加への評価	0	0	1	5	13	19



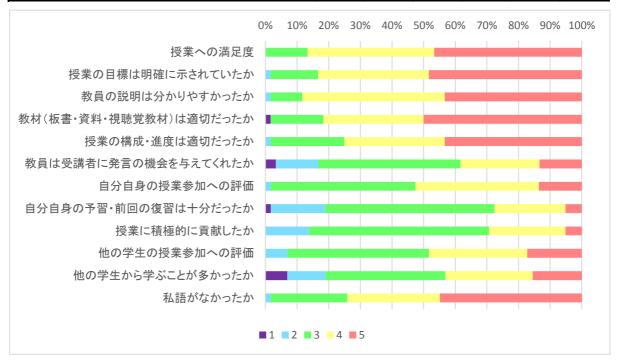
■担当者のコメント ――

担当するにあたって目標としたのは介護現場で「実践する力」を培うということです。したがって現場で活用できる素材を実践し、そこから生まれる楽しさを実体験し、それがどのような効果や機能維持を利用者にもたらすのかを確認した後で解説する時間をとりました。あわせてレクリエーション素材の拡がりや対象にフィットさせるためのアレンジの視点なども解説をしました。今回こうした取り組み方法を学生が理解し、評価してくれたことを嬉しく思っています。

後期の活動援助法Ⅱでも、現場の利用者が感じ取る「楽しさ」の構造やそこに導くための技術的な視点の解説と習得を目標に授業を進めていきたいと思います。

氏名	三坂 彰彦			
科目名	家族法(援)・福祉と法(家族法)			
実施日	2018/11/12	配当年次	2	
履修者数	75	回答者数	60	

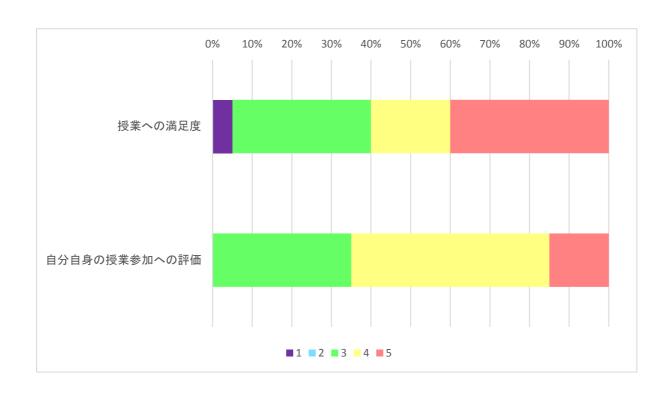
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	0	8	24	28	60
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	9	21	29	60
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	6	27	26	60
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	0	10	19	30	60
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	14	19	26	60
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	8	27	15	8	60
自分自身の授業参加への評価	0	1	27	23	8	59
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	10	31	13	3	58
授業に積極的に貢献したか	0	8	33	14	3	58
他の学生の授業参加への評価	0	4	26	18	10	58
他の学生から学ぶことが多かったか	4	7	22	16	9	58
私語がなかったか	0	1	14	17	26	58



■担当者のコメント

氏名	宮下 千登勢			
科目名	保育表現技術 I B1(保)			
実施日	2019/1/23	配当年次	2	
履修者数	20	回答者数	20	

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	1	0	7	4	8	20
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	10	3	20

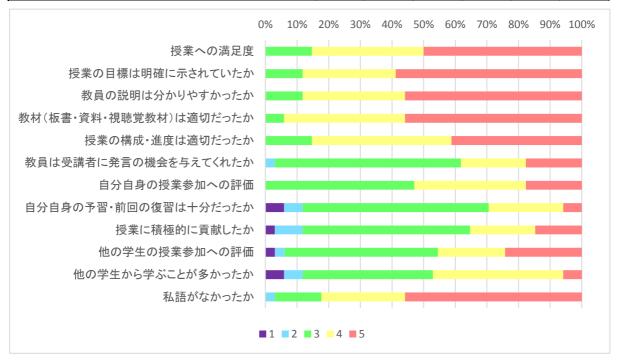


■担当者のコメント ----

多くの学生の皆さんが模擬セッションの発表に向けて真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。実際に現場を経験していない中での検討は、困難なことも多くあったかと思いますが、いつか実際の臨床場面で、授業中に迷ったり考えたりしたことが生かされることがあったら幸いに思います。アンケートの内容を検討し、次年度にぜひ生かしていきたいと思います。

氏名	宮脇 文恵					
科目名	コミュニティ・ソーシャル	コミュニティ・ソーシャルワーク論				
実施日	2018/7/26	2018/7/26 配当年次				
履修者数	57人	回答者数	34			

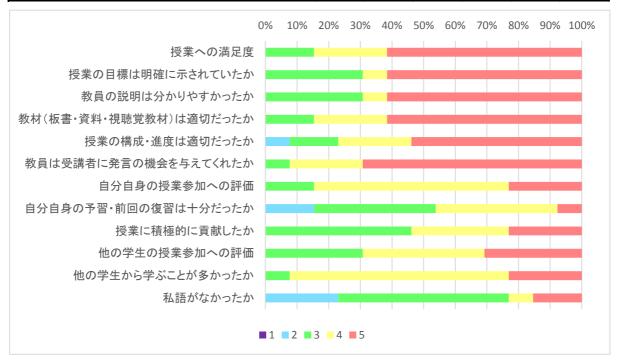
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	5	12	17	34
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	4	10	20	34
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	11	19	34
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	13	19	34
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	5	15	14	34
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	20	7	6	34
自分自身の授業参加への評価	0	0	16	12	6	34
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	2	20	8	2	34
授業に積極的に貢献したか	1	3	18	7	5	34
他の学生の授業参加への評価	1	1	16	7	8	33
他の学生から学ぶことが多かったか	2	2	14	14	2	34
私語がなかったか	0	1	5	9	19	34



ſ	■担当者のコメント	 	 	

氏名	八百谷 梨江		
科目名	初級日本手話E		
実施日	2018/7/31	配当年次	1
履修者数	13人	回答者数	13

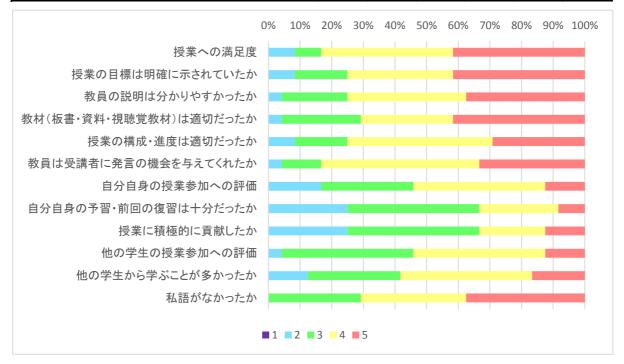
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	2	3	8	13
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	4	1	8	13
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	1	8	13
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	3	8	13
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	2	3	7	13
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	3	9	13
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	8	3	13
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	5	5	1	13
授業に積極的に貢献したか	0	0	6	4	3	13
他の学生の授業参加への評価	0	0	4	5	4	13
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	9	3	13
私語がなかったか	0	3	7	1	2	13



■担当者のコメント		
■1旦当有 シンーノン ト		

氏名	安見 克夫					
科目名	保育内容演習Ⅱ	保育内容演習Ⅱ(言葉)				
実施日	2018/12/13	2018/12/13 配当年次 3				
履修者数	33	回答者数	24			

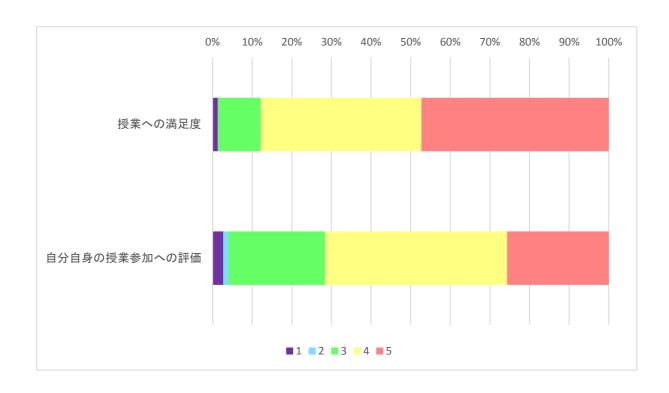
	no	←	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	口百日
授業への満足度	0	2	2	10	10	24
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	4	8	10	24
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	5	9	9	24
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	6	7	10	24
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	4	11	7	24
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	3	12	8	24
自分自身の授業参加への評価	0	4	7	10	3	24
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	6	10	6	2	24
授業に積極的に貢献したか	0	6	10	5	3	24
他の学生の授業参加への評価	0	1	10	10	3	24
他の学生から学ぶことが多かったか	0	3	7	10	4	24
私語がなかったか	0	0	7	8	9	24



この授業は、乳幼児の言葉の発達過程と、乳幼児期の児童の言葉の獲得に関する知識や技能を習得することを目的としています。実習前の学生のため実践事例を基にわかりやすく解説し、学生自身に言葉に対する関心と、その指導に関する必要性を理解してもらうたアクティブラーニング形式での授業を展開、様々な考えに触れてもらう機会を多く取り入れた。その結果、80%の学生は、理解・発言の機会・満足・場所などに対して、高く評価してくれている。しかし、授業への積極度を引き出すことができなかったことは、授業者の今後の課題となるところである。保育士資格にかかる授業のため、基本的には、保育士を目指す心構えを持って受講できるとよい。

氏名	山路 茜					
科目名	社会認識XI教	社会認識XⅠ教原理Ⅱ				
実施日	2019/1/16	配当年次	1			
履修者数	106	回答者数	74			

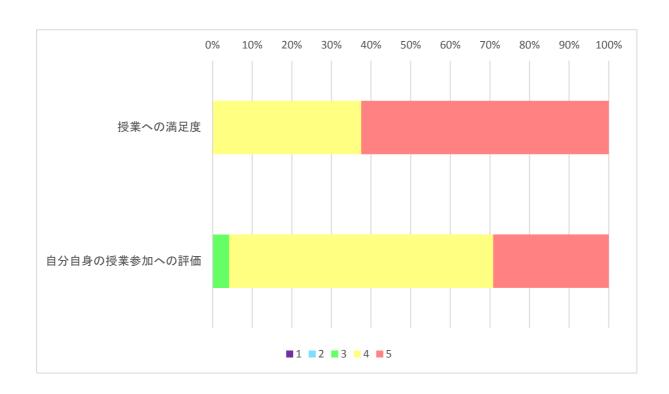
	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	百百
授業への満足度	1	0	8	30	35	74
自分自身の授業参加への評価	2	1	18	34	19	74



1人でも不満に感じている人がいることは重く受け止め、しかし多くの人が満足よりの回答をしてくれたことを励みにして授業に取り組みたいと思います。以下、自由記述で多かった話題に対するコメントです。【リアルタイムアンケート】実際の回答人数が少ない等の懸念事項はありますが、考えの交流として有意義な時間になっていることは読み取れました。継続し、問いの工夫などをしていきます。【時間配分】時間内に終わらなかった点は、直ちに改善します。前時の振り返りを大切に感じる一方、長いとの指摘もあるので、短縮できる方法を考えます。【レジュメ】丁寧で良いという評価とレジュメ以外の話がないという不満がありました。テーマを絞りながら、記載事項と当日の進め方とのバランスをとります。

氏名	吉川 あゆみ					
科目名	社会の認識XV	社会の認識XV[手話]				
実施日	2018/11/20	配当年次	1			
履修者数	34	回答者数	24			

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	0	0	9	15	24
自分自身の授業参加への評価	0	0	1	16	7	24

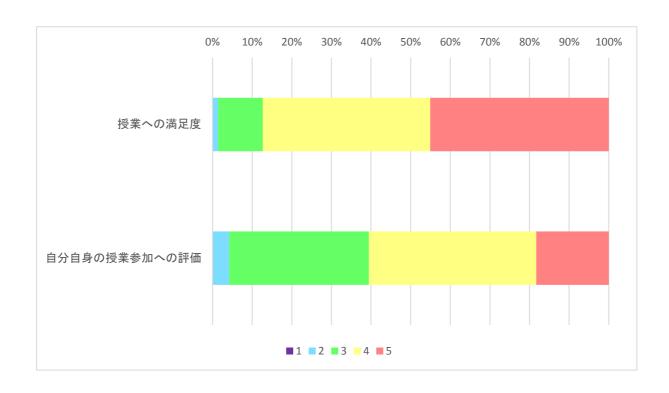


■担当者のコメント -----

今年度は聴覚障害者の生育背景への理解と事例検討に注力しました。回数を重ねるごとに理解が深まっていく様子が感じられました。

氏名	吉田 光爾・松長 麻美・水野 雅之									
科目名	精神保健									
実施日	2018/12/22	配当年次	2							
履修者数	89	回答者数	71							

	no	\leftarrow	評価	\rightarrow	yes	合計
	1	2	3	4	5	一百百
授業への満足度	0	1	8	30	32	71
自分自身の授業参加への評価	0	3	25	30	13	71



■担当者のコメント		

3. 参考資料

授業評価アンケート (様式1)

このアンケートは、本学における授業の方法・内容、本学のカリキュラムの効果、本学の授業・教育の 環境を評価し、今後の改善のための資料を作ることを目的としています。

実施日	7						
2 0 1 8 年 月 日							
科目名							
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \							
注意 ————————————————————————————————————							
この面に記載されているのは							
教員から指示のあったアンケ		が「様式	1] で正	しいこと	を確認した	うえで、	
以下の設問に回答してくださ	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						
設問1 該当する評価を塗りつぶ	してくだ	さい。					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	悪い 1	2	3	4	5 良い		
授業への満足度							
自分自身の授業参加への評価							
設問2 以下、自由に記述してく	ださい。						
授業で良かった点							
改善した方が良い点							
自分自身の努力が必要な点							
他の学生について気づいたこと							

授業評価アンケート (様式2)

このアンケートは、本学における授業の方法・内容、本学のカリキュラムの効果、本学の授業・教育の環境を評価し、今後の改善のための資料を作ることを目的としています。

実施	日							
2	0	1	8	年		月		日
科目	名	·						
	2/2							
	汪	意	,					

この面に記載されているのは<u>「様式2」</u>のアンケートです。※「様式1」は裏面に記載。 教員から指示のあったアンケート様式が「様式2」で正しいことを確認したうえで、 以下の質問に回答してください。

■該当する評価を塗りつぶしてください。

	悪い 1	2	3	4	5 良
授業への満足度					
授業の目標は明確に示されていたか					
教員の説明は分かりやすかったか					
板書・資料・視聴覚教材は適切だったか					
授業の構成・進度は適切だったか					
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	7				
自分自身の授業参加への評価					
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	7				
授業に積極的に貢献したか					
他の学生の授業参加への評価					
他の学生から学ぶことが多かったか					
私語がなかったか					